

# 東大阪市の生涯学習に関する アンケート調査

【結果報告書】

令和2年3月

東 大 阪 市



## 目 次

I 調査の概要.....	1
1. 調査の目的.....	2
2. 調査の概要.....	2
3. 報告書の見方について .....	3
II 調査の結果.....	5
1. 生涯学習の経験について.....	6
2. 今後の生涯学習の意向について.....	26
3. 生涯学習関連施設について.....	35
4. 大学などにおける社会人の学習について.....	38
5. 生涯学習の振興について.....	43
6. 回答者について.....	47
7. 自由記述回答について .....	51
III 結果のまとめ.....	57
1. 調査結果の概要.....	58
2. 調査結果からみた本市の課題について .....	60
IV 調査票 .....	63



# I 調査の概要

## 1. 調査の目的

第四次東大阪市生涯学習推進計画の策定にあたり、本市市民の生涯学習に関する活動の現状や希望、効果的な推進のための課題等を明らかにし、今後の生涯学習事業を推進していくための基礎資料とすること

## 2. 調査の概要

- ◇調査対象：東大阪市内在住の満 18 歳以上の市民
- ◇抽出方法：住民基本台帳より 1,500 人を無作為抽出
- ◇調査方法：郵送配付・郵送回収（調査票発送 1 週間後に督促状を発送）
- ◇調査期間：令和元年 11 月 11 日～11 月 26 日（調査期間終了後に回収された調査票についても、12 月上旬までのものについては有効回収とした）
- ◇回収状況：下表のとおり

配付数	回収数	有効回収数	有効回収率
1,500	578	577	38.5%

また、本市の生涯学習をめぐる現状と課題を明らかにする上で、市民対象の調査を補完するため、社会教育関係団体をはじめとする市内で活動する生涯学習団体を対象として「生涯学習推進計画策定に関する団体調査」を実施しました。ここでは、主に自由記述回答形式の調査票の配付・回収を行い、継続的に生涯学習に携わっている立場からの現状や課題についての意見を聴取しました。

団体調査の概要は以下の通りです。

- ◇調査対象：東大阪市内で活動する生涯学習関連団体 19 団体
- ◇調査方法：郵送配付・郵送回収
- ◇調査期間：令和元年 11 月 6 日～11 月 20 日（調査期間終了後に追加回収されたものも有効回収とした）
- ◇回収状況：16 団体より調査票を回収、回収率 84.2%

### 3. 報告書の見方について

- 回答結果の割合「%」は有効回答数に対して、それぞれの選択肢の回答数の割合を小数点以下第2位で四捨五入したものです。そのため、複数の選択肢から1つの選択肢を選ぶ方式の質問であっても、表記のパーセント値の合計が100.0ちょうどにならない場合があります。このことは、本報告書内の分析文、グラフ、表のいずれにおいても同様です。
- 複数回答（複数の選択肢からあてはまるすべての選択肢を選ぶ方式）の設問の場合、回答者の総数に対する、選択肢ごとの回答者数の割合を示しています。そのため、合計が100.0%を超える場合があります。
- 図表中において「不明・無回答」とあるものは、回答が示されていない、または回答の判別が困難だったものです。
- 図表中の「N（number of case）」は、集計対象者総数（あるいは回答者限定設問の限定条件に該当する人）を表しています。
- 本文・図表中の設問の選択肢は簡略化した表記にしている場合があります。





## II 調査の結果

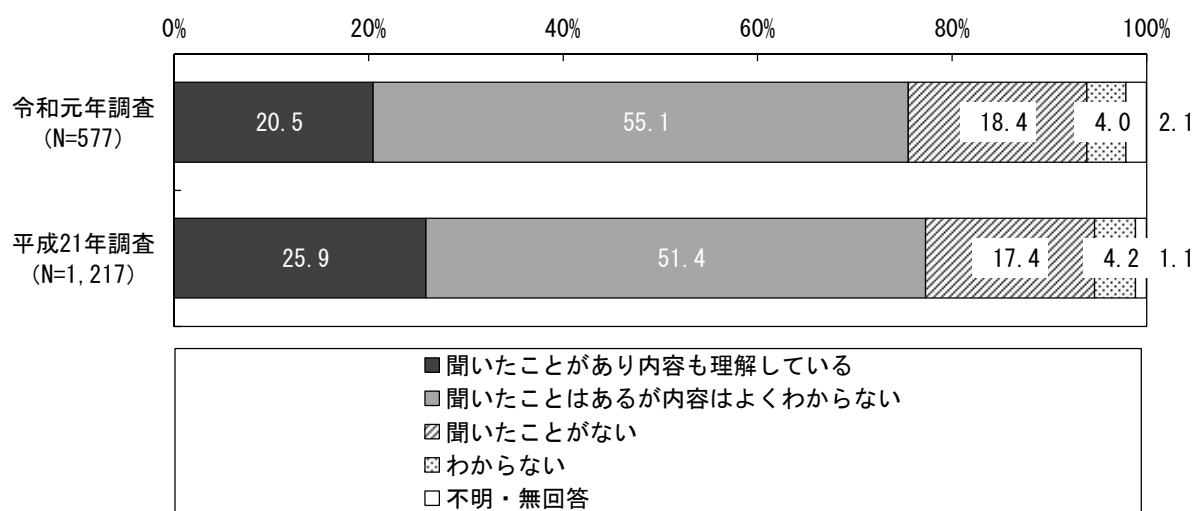
# 1. 生涯学習の経験について

〔調査票／問1〕

(1) あなたは「生涯学習」という言葉を聞いたことがありますか。

「聞いたことはあるが内容はよくわからない」が55.1%で最も多くなっています。「聞いたことがあります内容も理解している」は20.5%で、前回調査より減少しています。

性別でみると女性で、年齢別でみると50歳代以上で「聞いたことがあります内容も理解している」が多くなっており、20歳代以下では「聞いたことがない」が約3割となっています。



■性別・年齢別に見た生涯学習の認知

(%)

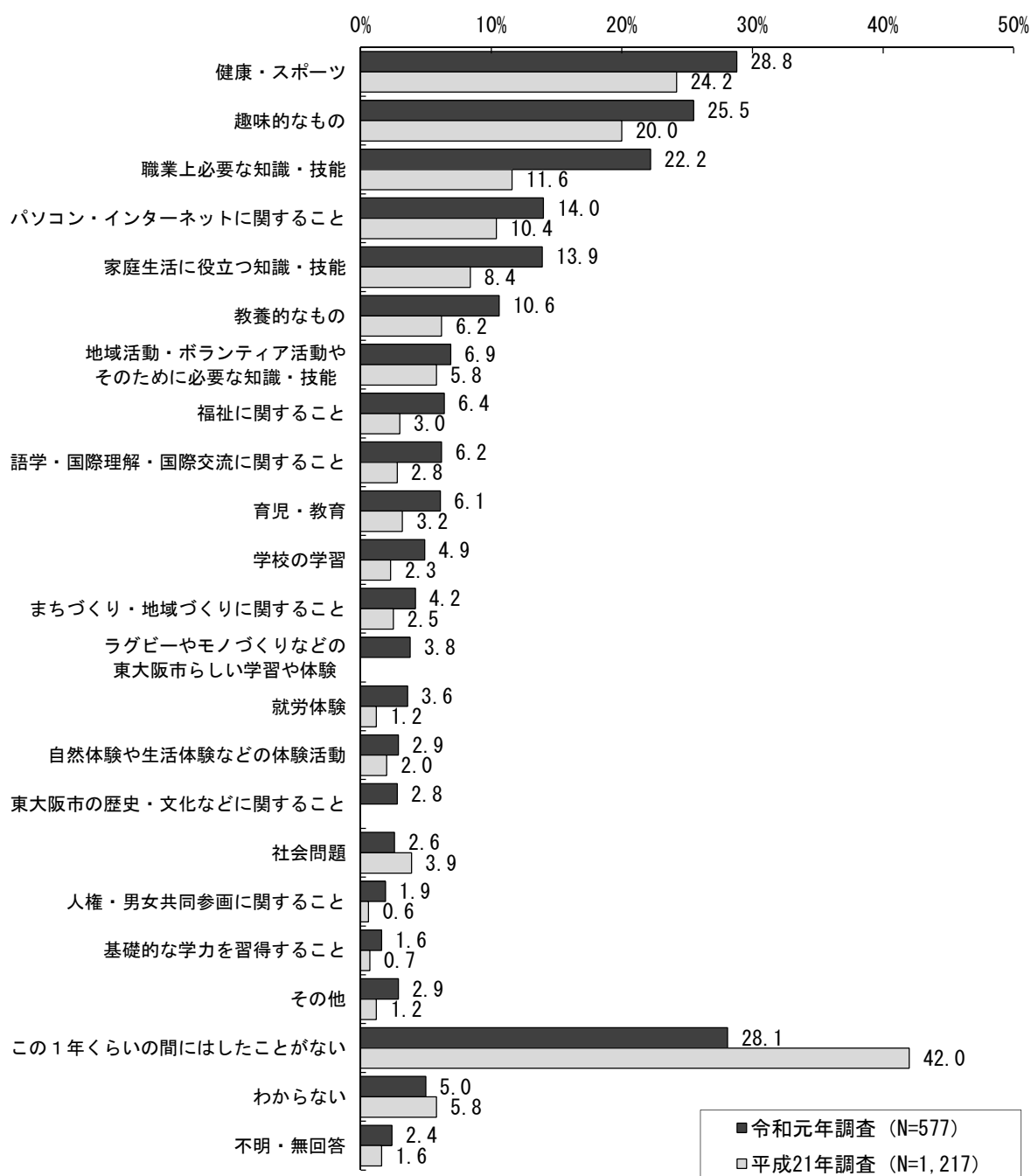
	聞いたことがあります内容も理解している	聞いたことはあるが内容はよくわからない	聞いたことがない	わからない	不明・無回答
全体 (n=577)	20.5	55.1	18.4	4.0	2.1
男性 (n=227)	16.7	56.8	18.9	4.4	3.1
女性 (n=336)	22.9	53.9	18.2	3.9	1.2
20歳代以下 (n=47)	12.8	44.7	31.9	8.5	2.1
30歳代 (n=55)	16.4	60.0	21.8	1.8	0.0
40歳代 (n=96)	14.6	53.1	22.9	8.3	1.0
50歳代 (n=101)	20.8	57.4	18.8	1.0	2.0
60歳代 (n=128)	20.3	60.9	14.1	2.3	2.3
70歳以上 (n=136)	27.9	50.7	14.0	4.4	2.9

※性別については「その他」という選択肢を設けていたが、分析に必要な回答数が得られなかったため、性別の集計には含めていない。年齢の「20歳代以下」は「10歳代」と「20歳代」の回答を合算している（以下同様）。

〔調査票／問2〕

(2) あなたはこの1年くらいの間に、どのような内容の学習活動や体験活動をしたことがありますか。【複数回答】

「健康・スポーツ」が28.8%で最も多く、次いで「趣味的なもの」が25.5%、「職業上必要な知識・技能」が22.2%となっています。前回調査では回答数が制限されていたため単純な比較はできませんが、「職業上必要な知識・技能」が増加し、「この1年くらいの間にはしたことがない」が減少しています。



※「ラグビーやモノづくりなどの東大阪市らしい学習や体験」、「東大阪市の歴史・文化などに関すること」は、令和元年調査のみ。平成21年調査は回答数を【3つまで】に制限。

## ○性別・年齢別・学歴別にみた学習経験

「健康・スポーツ」、「趣味的なもの」、「家庭生活に役立つ知識・技能」、「育児・教育」は女性の回答が多く、「パソコン・インターネットに関すること」、「教養的なもの」は男性で多くなっています。

年齢別では、「家庭生活に役立つ知識・技能」はより若い世代で多く、「職業上必要な知識・技能」は現役世代で、「育児・教育」は30歳代で多くなっています。「地域活動・ボランティア活動やそのために必要な知識・技能」は70歳代でやや多くなっています。

学歴別にみると、学歴が高い方が学習経験を多く有している傾向がみられます。

### ■性別・年齢別・学歴別にみた学習経験

(%)

	健康・スポーツ	趣味的なもの	職業上必要な知識・技能	パソコン・インターネットに関すること	家庭生活に役立つ知識・技能	教養的なもの	地域活動・ボランティア活動やそのために必要な知識・技能	福祉に関すること
全体(n=577)	28.8	25.5	22.2	14.0	13.9	10.6	6.9	6.4
男性(n=227)	25.1	16.7	23.8	17.6	4.8	13.7	6.6	6.2
女性(n=336)	31.8	31.8	21.4	11.6	19.9	8.6	7.4	6.0
20歳代以下(n=47)	31.9	36.2	44.7	29.8	23.4	25.5	4.3	6.4
30歳代(n=55)	21.8	25.5	25.5	7.3	21.8	14.5	1.8	7.3
40歳代(n=96)	25.0	17.7	27.1	12.5	16.7	6.3	8.3	3.1
50歳代(n=101)	33.7	25.7	31.7	18.8	11.9	6.9	2.0	4.0
60歳代(n=128)	30.5	28.1	18.0	11.7	9.4	12.5	7.8	5.5
70歳以上(n=136)	29.4	25.7	7.4	11.0	11.0	8.1	12.5	9.6
小・中・高等学校卒業(n=365)	26.0	21.1	18.1	13.4	11.2	7.1	6.0	4.9
短大・高専・大学・大学院卒業(n=196)	35.2	34.7	30.1	14.8	18.9	17.3	9.2	8.2

(次ページに続く)

※学歴については、「小・中・高等学校卒業」は最後に卒業した学校について、「小学校・中学校」と「高等学校（高等学校卒業後に専門学校に進学した場合を含む）」を回答したものの合算、「短大・高専・大学・大学院卒業」は「短期大学・高等専門学校（高専）」、「大学」、「大学院」を回答したものの合算（以下同様）。

■性別・年齢別・学歴別にみた学習経験(つづき)

(%)

	と 際交流に関するこ 語学・国際理解・国	育児・教育	学校の学習	まちづくり・地域づ くりに関するこ	ラグビーやモノづく りなどの東大阪市 らしい学習や体験	就労体験	自然体験や生活体 験などの体験活動	と 化などに関するこ 東大阪市の歴史・文
全体(n=577)	6.2	6.1	4.9	4.2	3.8	3.6	2.9	2.8
男性(n=227)	3.5	1.8	5.3	4.4	3.5	3.5	1.8	4.8
女性(n=336)	8.3	9.2	4.8	3.9	3.9	3.9	3.9	1.5
20歳代以下(n=47)	17.0	4.3	38.3	4.3	4.3	12.8	8.5	2.1
30歳代(n=55)	1.8	25.5	3.6	1.8	7.3	0.0	3.6	0.0
40歳代(n=96)	10.4	10.4	2.1	1.0	1.0	5.2	3.1	0.0
50歳代(n=101)	5.0	3.0	1.0	4.0	2.0	1.0	3.0	1.0
60歳代(n=128)	3.1	2.3	1.6	3.1	3.1	3.1	0.8	3.1
70歳以上(n=136)	5.1	2.2	2.2	8.1	5.9	3.7	2.9	7.4
小・中・高等学校 卒業(n=365)	3.8	3.6	5.2	4.1	3.6	3.8	1.9	2.5
短大・高専・大学・ 大学院卒業(n=196)	11.2	11.2	4.6	4.1	4.1	3.6	5.1	3.6

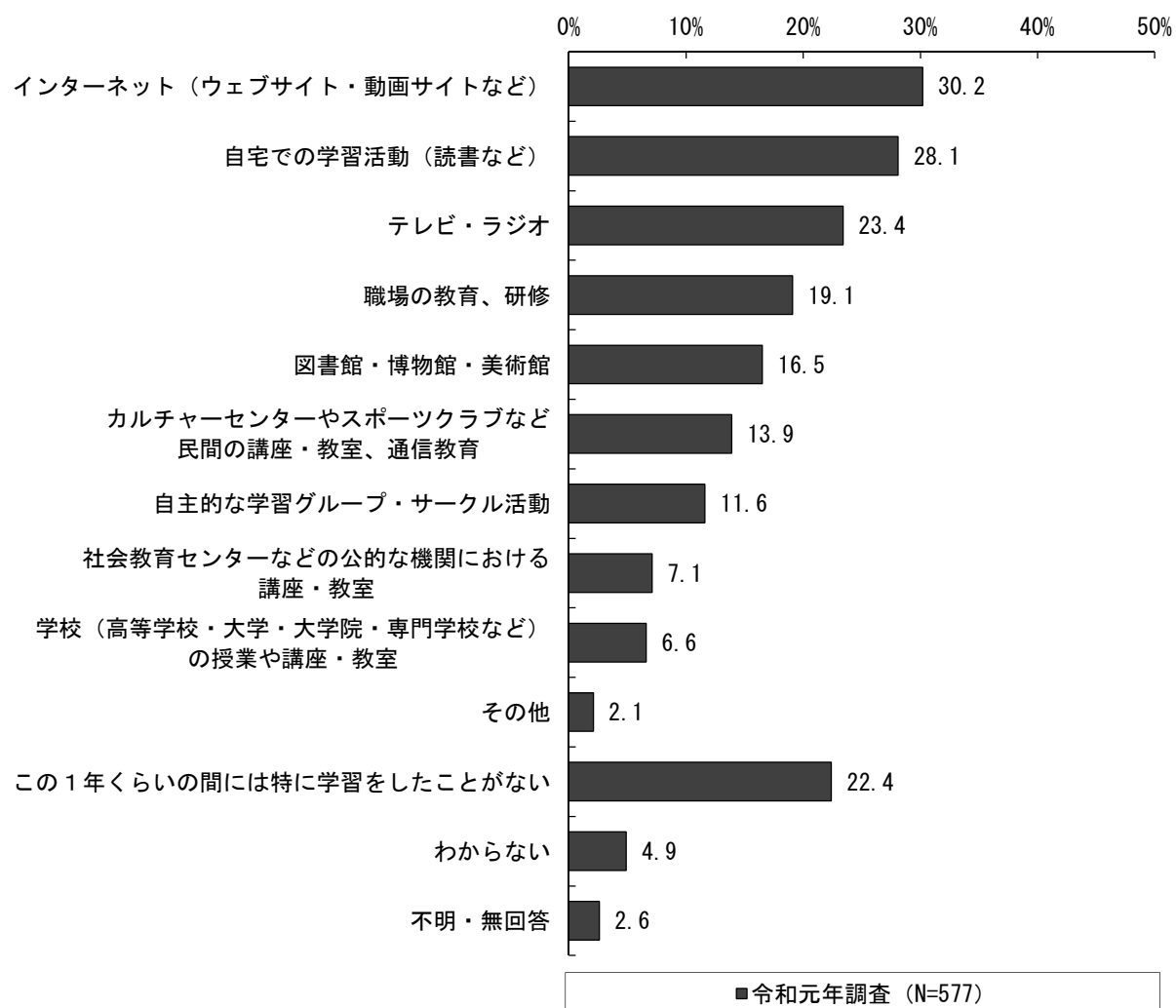
	社会問題	人権・男女共同参画 に関するこ	基礎的な学力を習 得すること	その他	この1年くらいの間 にはしたことがない	わからない	不明・無回答
全体(n=577)	2.6	1.9	1.6	2.9	28.1	5.0	2.4
男性(n=227)	4.8	0.0	1.3	1.3	29.5	5.7	3.5
女性(n=336)	1.2	3.0	1.8	4.2	26.5	4.2	1.5
20歳代以下(n=47)	8.5	0.0	4.3	2.1	8.5	2.1	0.0
30歳代(n=55)	0.0	1.8	1.8	3.6	29.1	1.8	0.0
40歳代(n=96)	1.0	4.2	0.0	3.1	28.1	5.2	2.1
50歳代(n=101)	1.0	2.0	0.0	2.0	27.7	4.0	3.0
60歳代(n=128)	3.1	2.3	2.3	2.3	33.6	5.5	1.6
70歳以上(n=136)	3.7	0.0	2.2	4.4	28.7	6.6	4.4
小・中・高等学校 卒業(n=365)	2.5	0.8	1.4	3.3	33.4	6.0	1.9
短大・高専・大学・ 大学院卒業(n=196)	3.1	3.6	2.0	2.6	16.8	2.6	3.1

〔調査票/問3〕

(3) あなたはこの1年くらいの間に、どのような方法で学習したことがありますか。

【複数回答】

「インターネット」が30.2%で最も多く、次いで「自宅での学習活動」が28.1%、「テレビ・ラジオ」が23.4%となっています。「社会教育センターなどの公的な機関における講座・教室」は7.1%で、「カルチャーセンターやスポーツクラブなど民間の講座・教室、通信教育」の13.9%より少なくなっています。



## ○性別・年齢別・学歴別にみた学習方法

「図書館・博物館・美術館」、「民間の講座・教室、通信教育」女性の回答が多くなっています。

年齢別では、「インターネット」はより若い世代で多く、「テレビ・ラジオ」は60歳以上の世代で多くなっています。「民間の講座・教室、通信教育」は50歳代と60歳代で多く、「自主的な学習グループ・サークル活動」は30歳代以下と70歳以上で多くなっています。「学校の授業や講座・教室」は20歳代以下の回答が特に多くなっていますが、これは大学等に在学中の回答者が多かったものと思われます。

学歴別では、ほとんどの項目で学歴の高い人の方が多く回答されていますが、「テレビ・ラジオ」は逆になっています。

### ■性別・年齢別・学歴別にみた学習方法

(%)

	インターネット(ウェブサイト・動画サイトなど)	自宅での学習活動(読書など)	テレビ・ラジオ	職場の教育、研修	図書館・博物館・美術館	の講座・教室、通信教育	カルチャーセンターやスポーツクラブなど民間の講座・教室、通信教育	自主的な学習グループ・サークル活動	講座・教室	社会教育センターなどの公的な機関における
全体(n=577)	30.2	28.1	23.4	19.1	16.5	13.9	11.6	7.1		
男性(n=227)	32.6	28.6	21.1	18.5	13.2	7.5	12.8	7.0		
女性(n=336)	29.2	28.0	25.3	19.6	19.0	18.8	11.3	7.4		
20歳代以下(n=47)	53.2	51.1	19.1	27.7	27.7	2.1	14.9	4.3		
30歳代(n=55)	47.3	30.9	21.8	43.6	12.7	9.1	18.2	3.6		
40歳代(n=96)	38.5	26.0	13.5	24.0	13.5	13.5	5.2	5.2		
50歳代(n=101)	34.7	21.8	17.8	23.8	11.9	20.8	7.9	9.9		
60歳代(n=128)	26.6	28.1	29.7	13.3	21.9	19.5	10.2	7.0		
70歳以上(n=136)	11.0	25.0	30.9	5.1	15.4	11.0	17.6	9.6		
小・中・高等学校卒業(n=365)	25.8	24.1	25.2	14.5	12.9	11.5	9.3	5.8		
短大・高専・大学・大学院卒業(n=196)	38.8	35.2	20.9	27.6	23.5	19.4	16.3	10.2		

■性別・年齢別・学歴別にみた学習方法（つづき）（％）

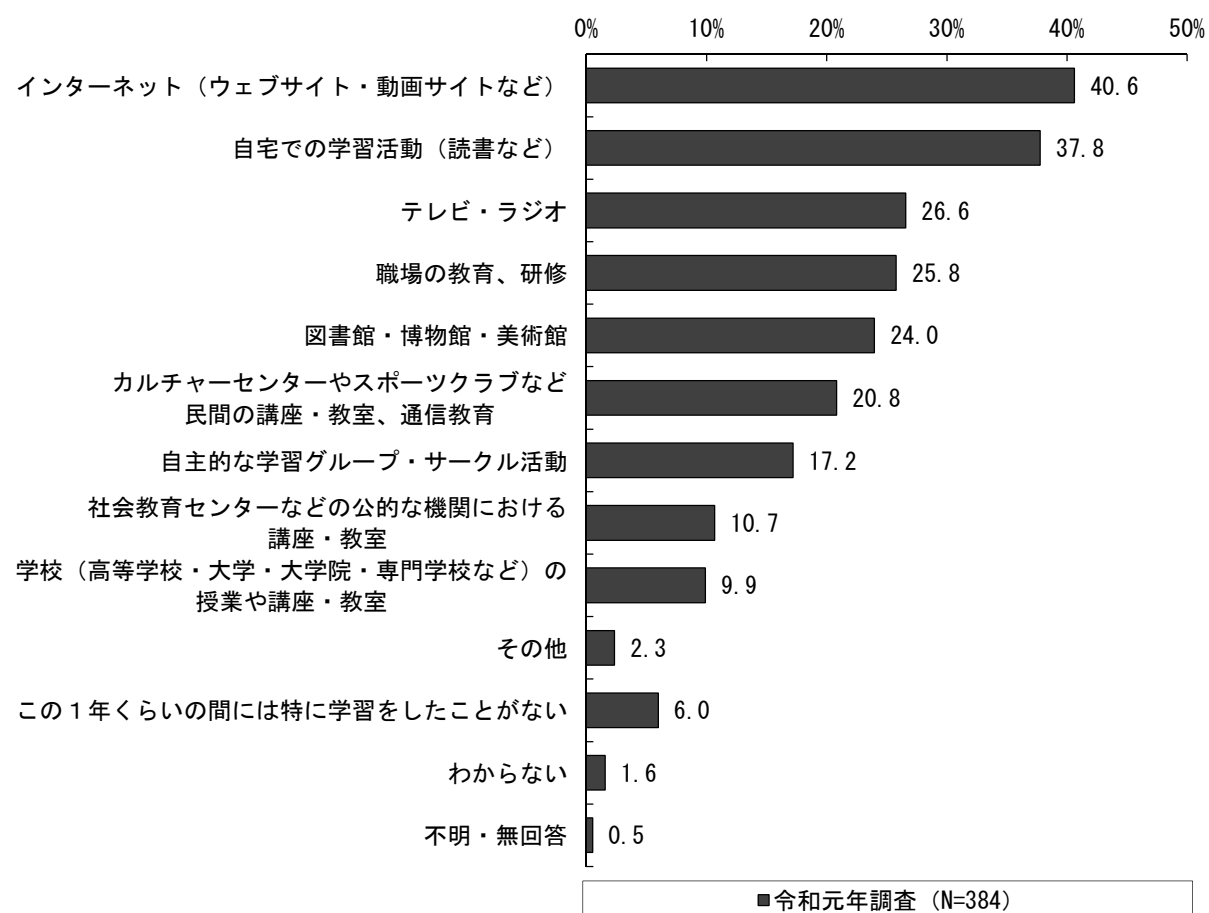
	の授業や講座・教室 大学院・専門学校など）	学校（高等学校・大学・ 大学院）	その他	この1年くらいの間には 特に学習をしたことが ない	わからない	不明・無回答
全体(n=577)	6.6	2.1	22.4	4.9	2.6	
男性(n=227)	7.9	1.8	22.9	6.6	2.2	
女性(n=336)	6.0	2.4	21.7	2.7	2.7	
20歳代以下(n=47)	44.7	2.1	17.0	0.0	0.0	
30歳代(n=55)	7.3	0.0	12.7	3.6	0.0	
40歳代(n=96)	4.2	1.0	22.9	6.3	2.1	
50歳代(n=101)	3.0	3.0	18.8	4.0	3.0	
60歳代(n=128)	3.1	2.3	25.8	6.3	1.6	
70歳以上(n=136)	1.5	2.9	27.2	2.9	5.1	
小・中・高等学校 卒業(n=365)	5.8	2.2	27.9	5.8	2.2	
短大・高専・大学・ 大学院卒業(n=196)	8.7	2.0	11.7	1.5	3.1	



○この1年くらいの間に生涯学習活動をした人（問2で「この1年くらいの間には特に学習をしたことがない」と「わからない」以外を回答した人）のみの集計

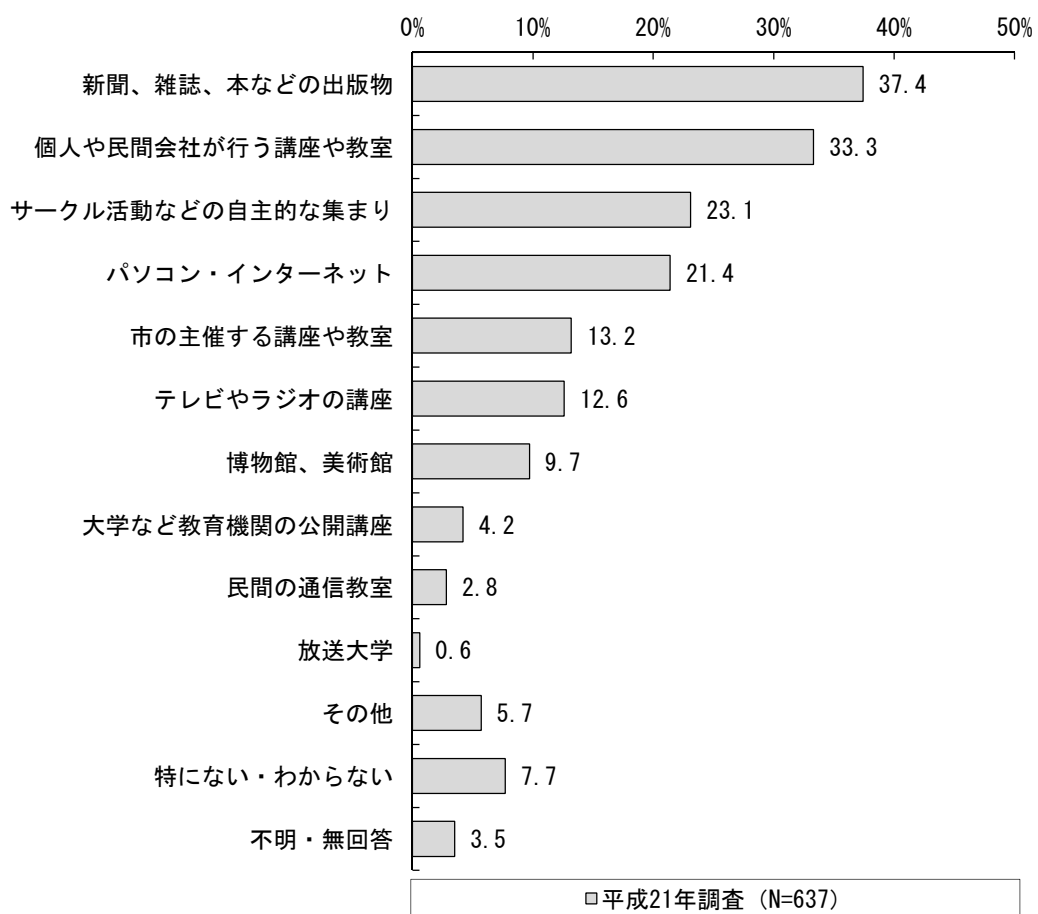
この1年くらいの間に生涯学習活動をした人のみを集計すると、「インターネット」が40.6%、「自宅での学習活動」が37.8%で特に多くなっています。「テレビ・ラジオ」や「図書館・博物館・美術館」といった個人での学習が上位を占めており、講座・教室やグループ・サークルでの学習に取り組む人は比較的少なくなっています。

前回調査とは選択肢が異なるため単純な比較はできませんが、「インターネット」を利用した学習が大幅に増加しており、「テレビ・ラジオ」や「民間の講座・教室、通信教育」が減少しています。



※生涯学習をした人のみの集計であるにもかかわらず、「この1年くらいの間にはとくに学習をしたことがない」または「わからない」という回答があるのは、「問2で何らかの生涯学習活動をしたことがある」と回答していても、この質問（問3）では上記の選択肢を回答した人がいるため。

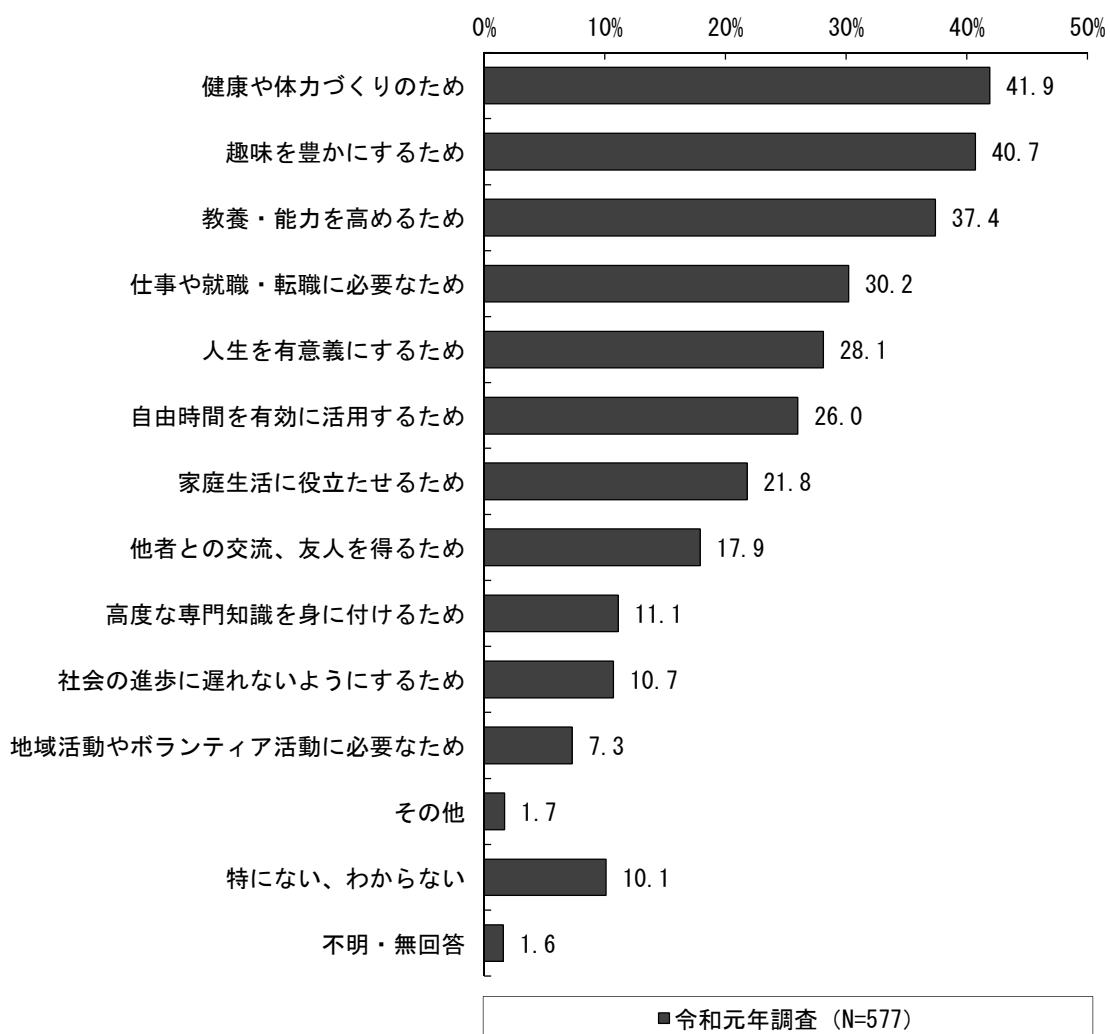
○【参考】平成 21 年調査「どのような手段・方法で学習しているか」（この 1 年くらいの間に生涯学習活動をした人のみ）



〔調査票／問4〕

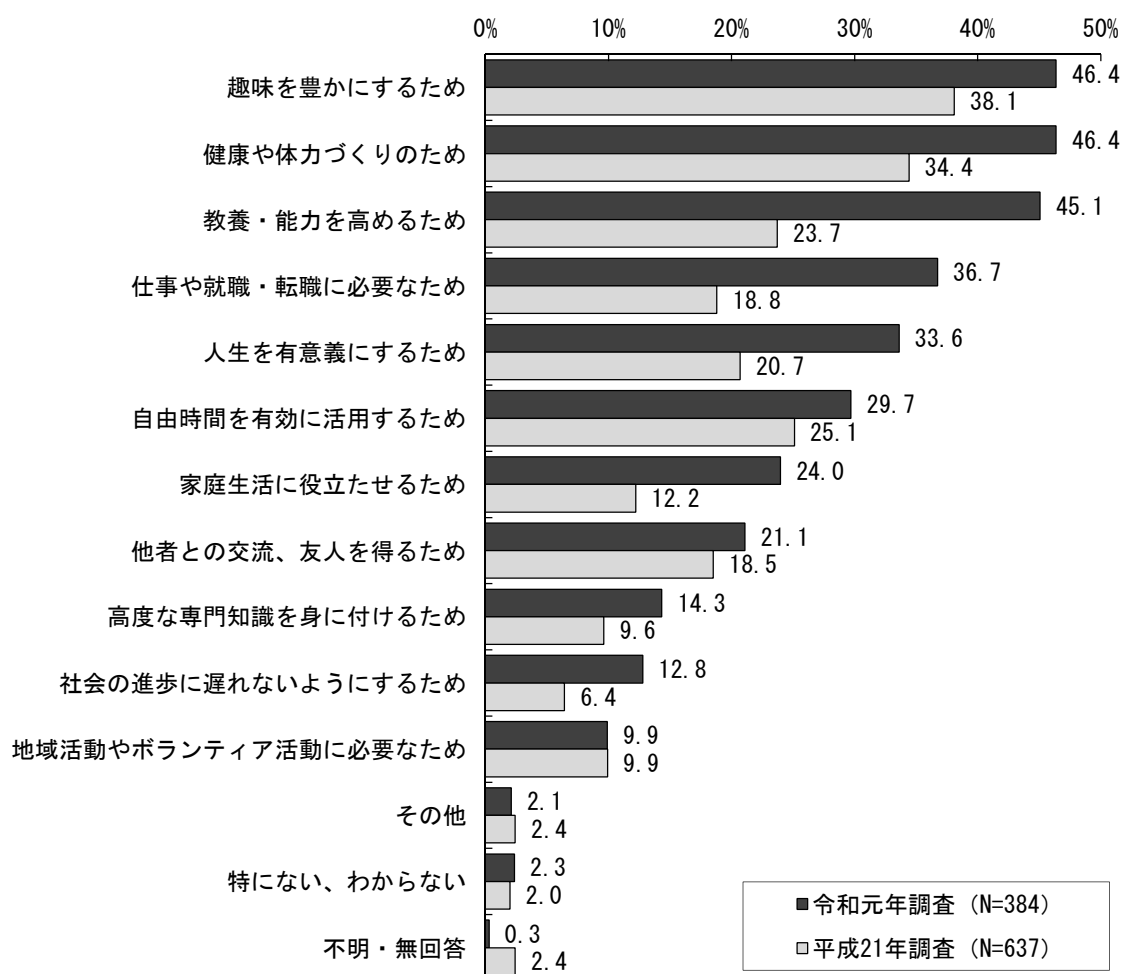
(4) あなたが何か学習を始めるとき、その理由は何ですか。【複数回答】

学習を始める理由としては、「健康や体力づくりのため」が41.9%で最も多くなっています。次いで「趣味を豊かにするため」が40.7%、「教養・能力を高めるため」が37.4%となっています。



○この1年くらいの間に生涯学習活動をした人のみの集計

前回調査では回答数が制限されているため、単純な比較はできませんが、前回調査では3番目に多かった「自由時間を有効に活用するため」の順位が下がり、「仕事や就職・転職に必要なため」が増加しています。「家庭生活に役立たせるため」、「社会の進歩に遅れないようにするため」も前回の約2倍の回答があります。

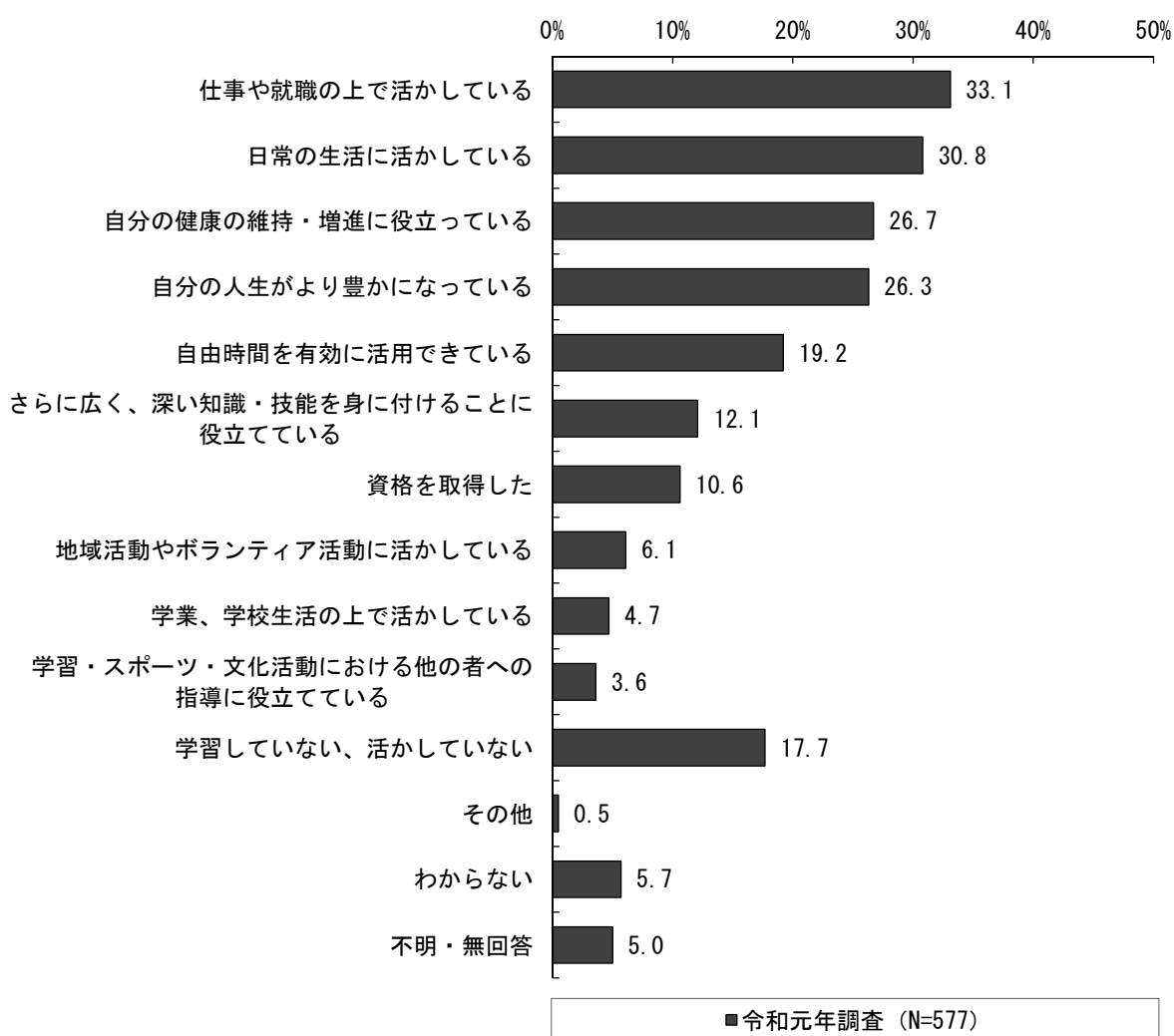


※平成21年調査は回答数を【3つまで】に制限。

〔調査票／問5〕

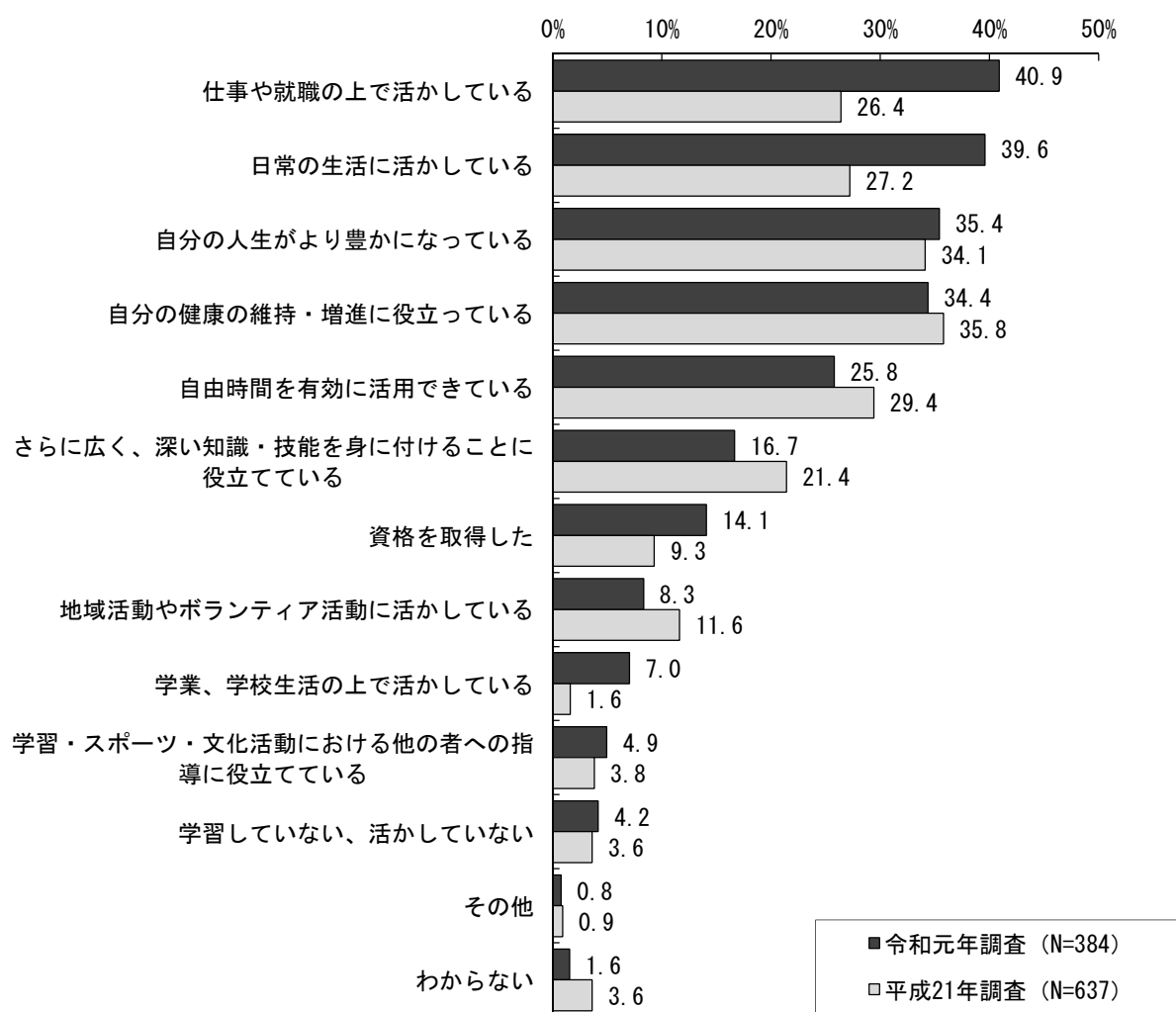
(5) あなたは、学習活動を通じて身に付けた知識・技能をどのように活かしていますか。【複数回答】

学習活動を通じて身に付けた知識・技術の活かし方については、「仕事や就職の上で活かしている」が33.1%で最も多く、次いで「日常生活に活かしている」が30.8%、「自分の健康の維持・増進に役立っている」が26.7%となっています。



## ○この1年くらいの間に生涯学習活動をした人のみの集計

前回調査と比較すると、前回最も多かった「自分の健康の維持・増進に役立っている」の順位が下がり、「仕事や就職の上で活かしている」「日常の生活に活かしている」が増加しています。回答数は少なくなっていますが、「資格を取得した」が増加し、「さらに広く、深い知識・技能を身に付けることに役立っている」、「地域活動やボランティア活動に活かしている」が減少しています。



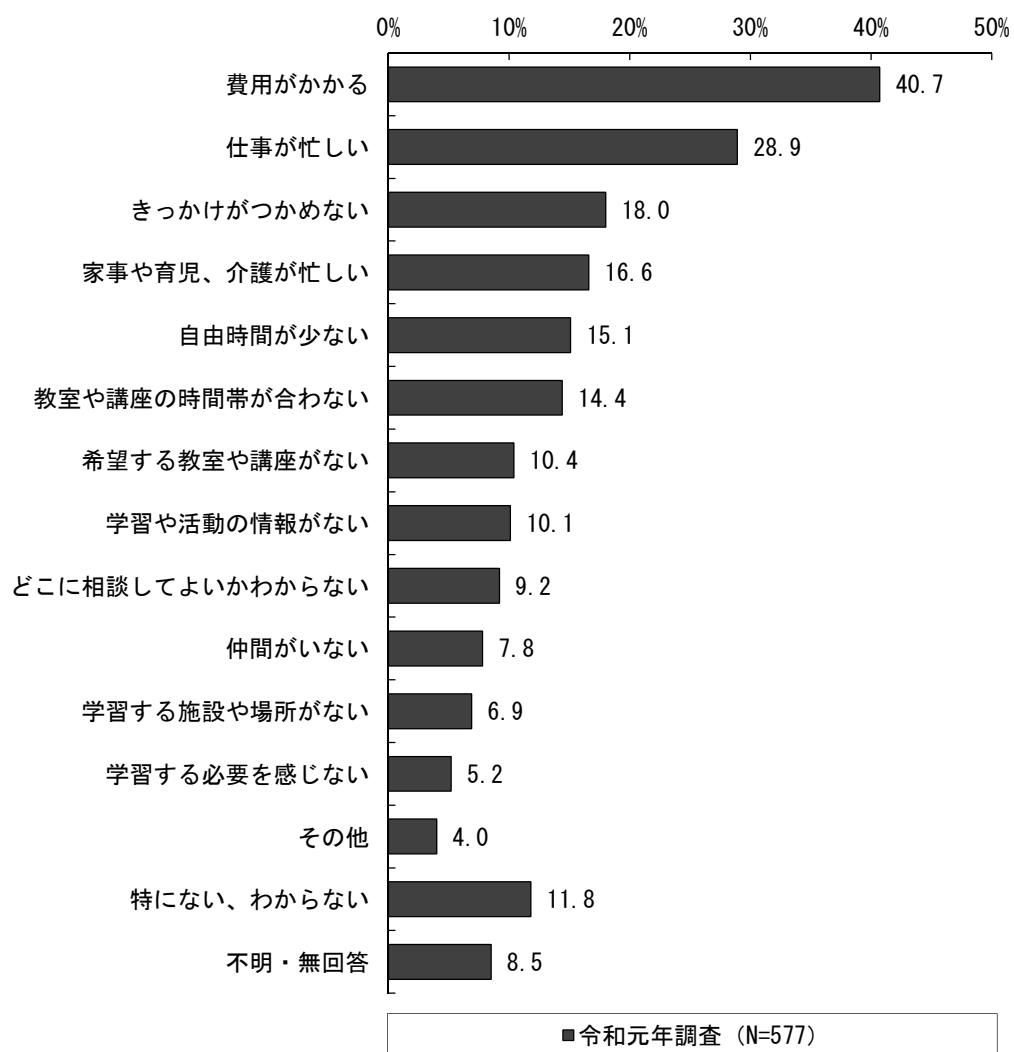
※平成21年調査は回答数を【3つまで】に制限。

〔調査票／問6〕

(6) あなたが学習をする時に困ることや、学習活動をしていない理由は何ですか。

【複数回答】

学習をする時に困ることや学習活動をしていない理由については、「費用がかかる」が40.7%で最も多く、次いで「仕事が忙しい」が28.9%となっています。「費用がかかる」については、この1年くらいの間には生涯学習活動をしていない人のみの回答では、回答率が下がっており、学習をしている人の方が多く回答されています。



○性別・年齢別にみた学習をする時に困ることや、学習活動をしていない理由

性別でみると、「費用がかかる」、「家事や育児、介護が忙しい」、「自由時間が少ない」は女性の回答が多く、「どこに相談してよいかわからない」は男性が多くなっています。

年齢別でみると、「仕事が忙しい」、「費用がかかる」は50歳代以下で多く、「自由な時間が少ない」は40歳代以下で、「学習する施設や場所がない」は30歳代以下で多くなっています。「教室や講座の時間帯が合わない」は40歳代と50歳代で、「家事や育児、介護が忙しい」は30歳代と40歳代で、それぞれ多くなっています。

■性別・年齢別にみた学習の阻害要因

(%)

	費用がかかる	仕事が忙しい	きっかけがつかめない	家事や育児、介護が忙しい	自由時間が少ない	教室や講座の時間帯が合わない	希望する教室や講座がない	学習や活動の情報がない
全体(n=577)	40.7	28.9	18.0	16.6	15.1	14.4	10.4	10.1
男性(n=227)	37.4	31.3	15.0	3.1	7.9	12.8	7.9	8.8
女性(n=336)	43.8	27.4	19.0	26.2	19.3	16.1	12.5	10.7
20歳代以下(n=47)	57.4	46.8	14.9	17.0	21.3	12.8	2.1	4.3
30歳代(n=55)	58.2	45.5	21.8	47.3	25.5	16.4	16.4	9.1
40歳代(n=96)	49.0	45.8	17.7	28.1	25.0	22.9	12.5	10.4
50歳代(n=101)	47.5	39.6	17.8	15.8	13.9	19.8	10.9	13.9
60歳代(n=128)	39.1	17.2	25.8	8.6	7.0	13.3	12.5	11.7
70歳以上(n=136)	19.9	7.4	8.8	5.1	8.8	5.9	7.4	7.4

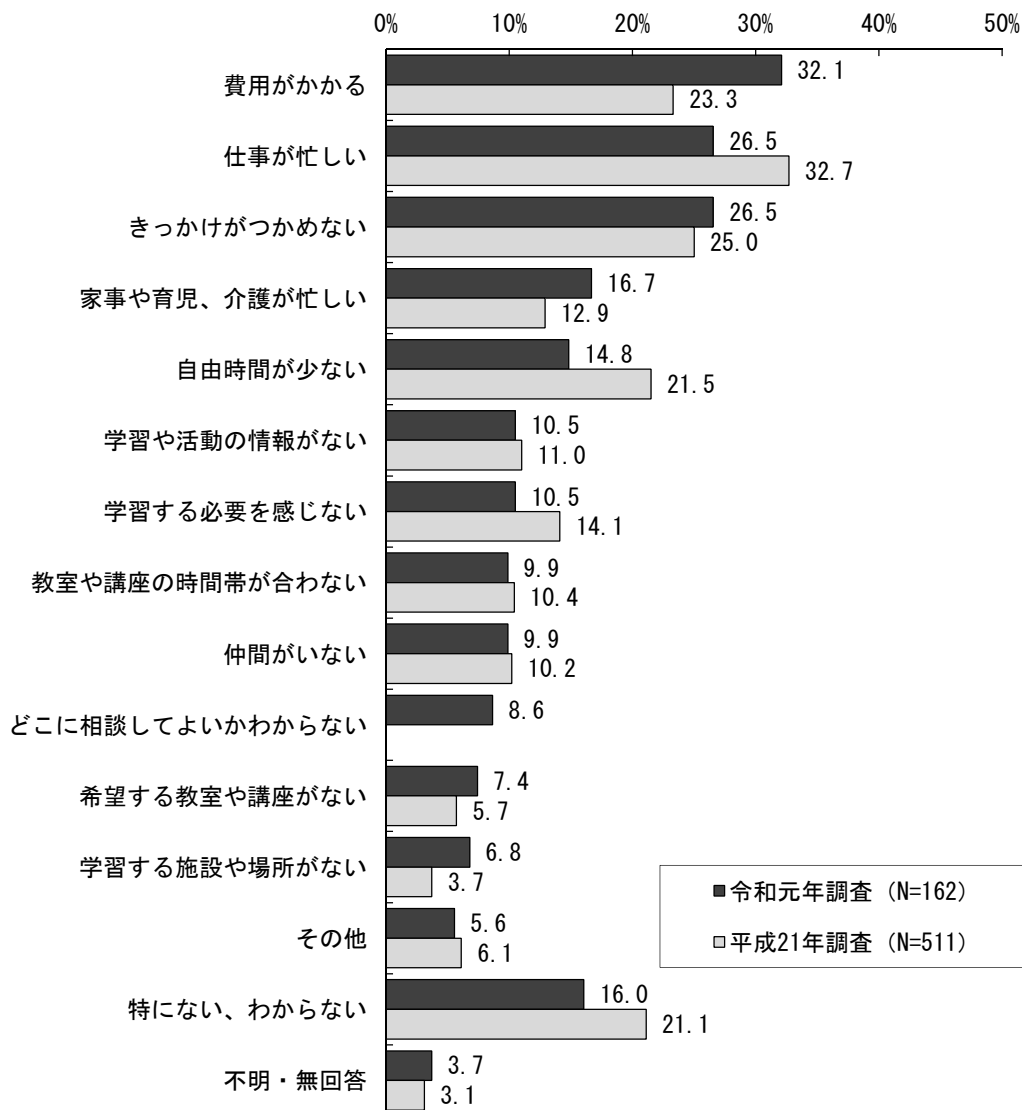
	どこに相談してよいかわからない	仲間がない	学習する施設や場所がない	学習する必要があると感じない	その他	特になし、わからない	不明・無回答
全体(n=577)	9.2	7.8	6.9	5.2	4	11.8	8.5
男性(n=227)	12.3	9.3	7.9	7.9	4	15	7.9
女性(n=336)	7.1	6.5	6.5	3.6	4.2	10.1	8.9
20歳代以下(n=47)	10.6	6.4	12.8	8.5	0	8.5	4.3
30歳代(n=55)	10.9	10.9	12.7	3.6	1.8	5.5	3.6
40歳代(n=96)	7.3	4.2	8.3	3.1	2.1	9.4	2.1
50歳代(n=101)	11.9	5.0	6.9	4.0	3	11.9	5
60歳代(n=128)	9.4	10.2	6.3	5.5	1.6	14.8	5.5
70歳以上(n=136)	7.4	8.8	2.9	7.4	11	15.4	22.1



○この1年くらいの間に生涯学習活動をしていない人のみの集計

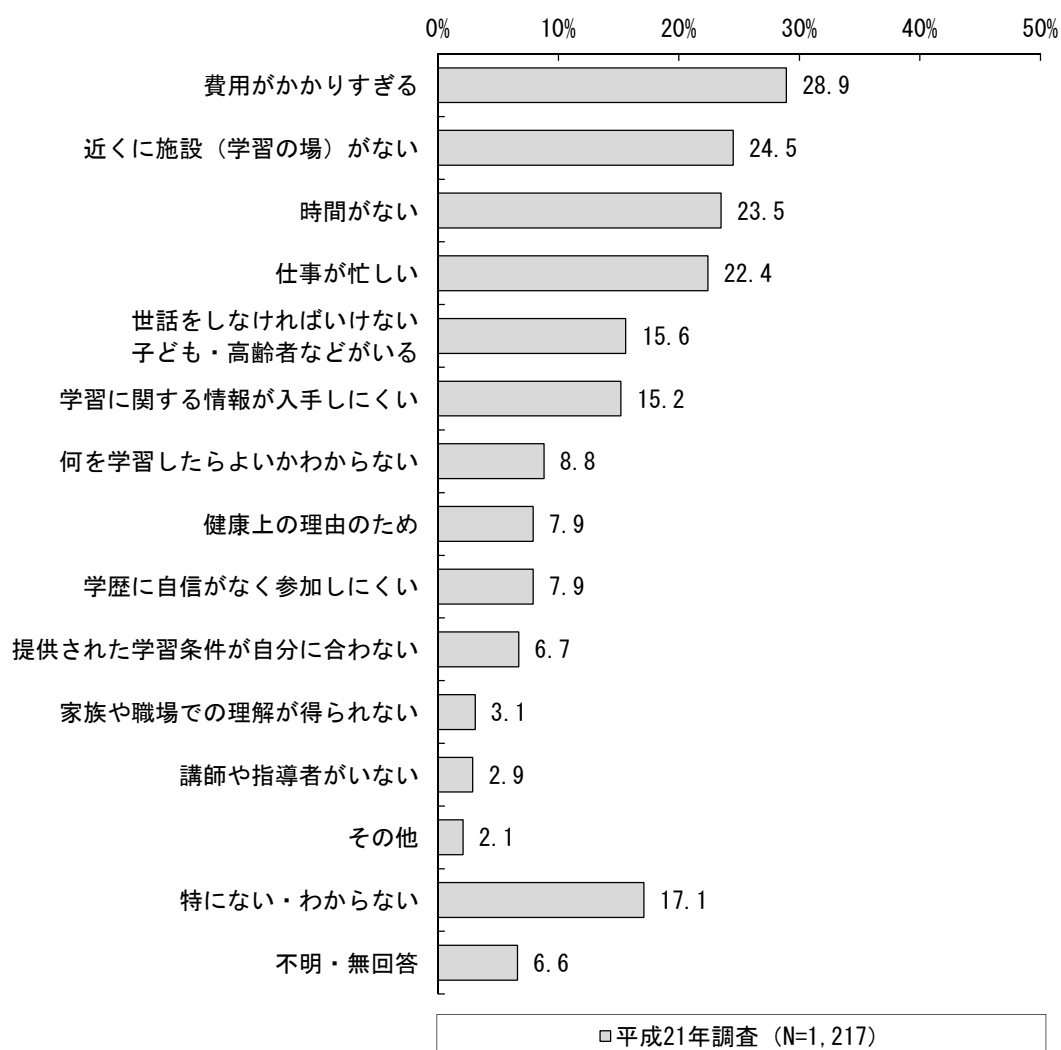
生涯学習活動をしていない人のみの集計では、全体と比較して「費用がかかる」が少なく、「きっかけがつかめない」が多くなっています。

前回調査と比較すると、「仕事が忙しい」、「自由時間が少ない」、「学習する必要を感じない」が減少し、「費用がかかる」が増加しています。



※「どこに相談してよいかわからない」は、令和元年調査のみ。平成21年調査の質問は「生涯学習活動をしていない理由」。平成21年度調査では回答数を【3つまで】に制限。

○【参考】平成21年調査「生涯学習活動をしたと思った時に困ること」

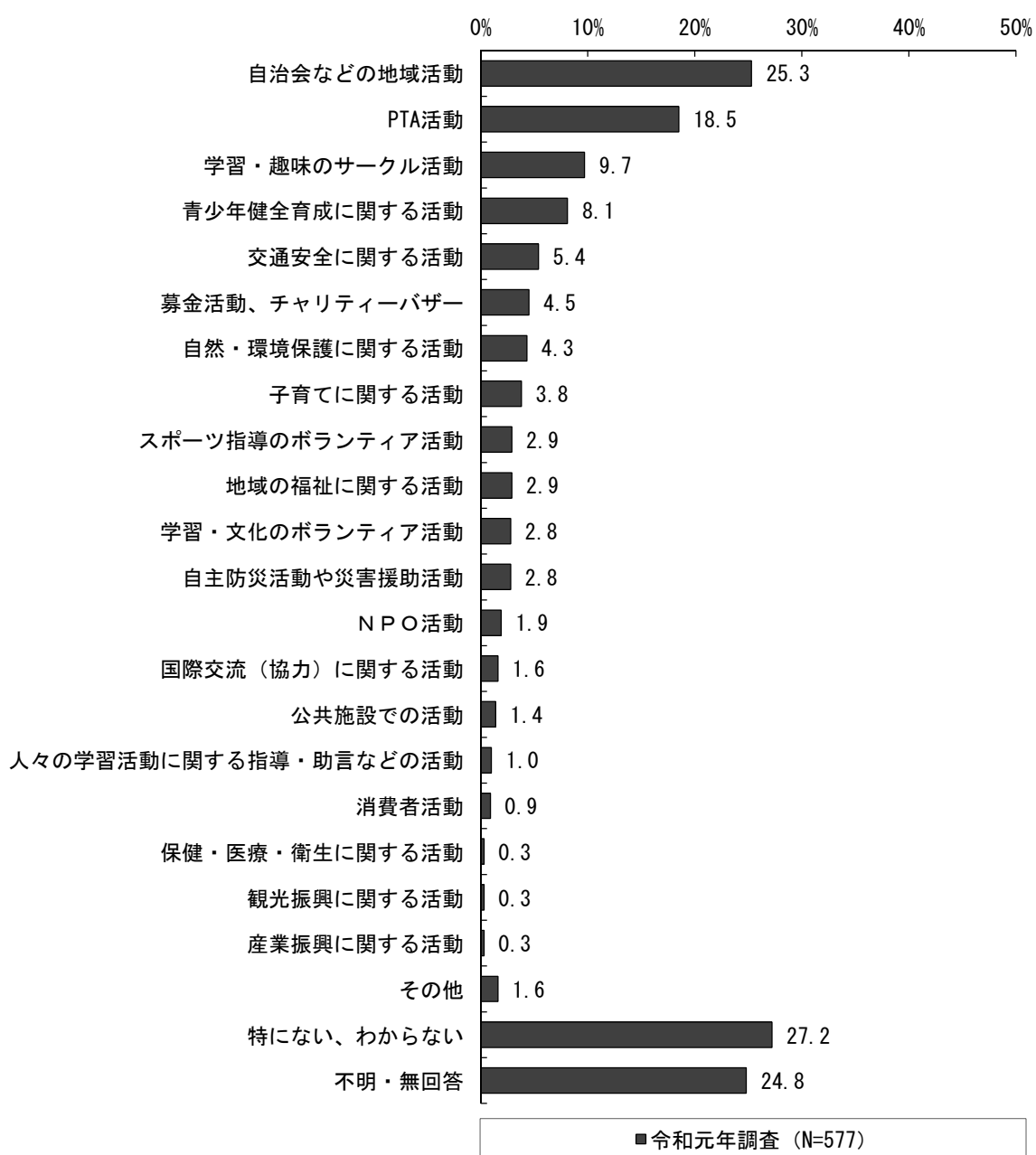


〔調査票／問7〕

(7) あなたはこれまでに、地域の活動やボランティア活動に参加したことがありますか。また、今後、どのような活動に参加したいと思いますか。【複数回答】

① 参加したことがある活動

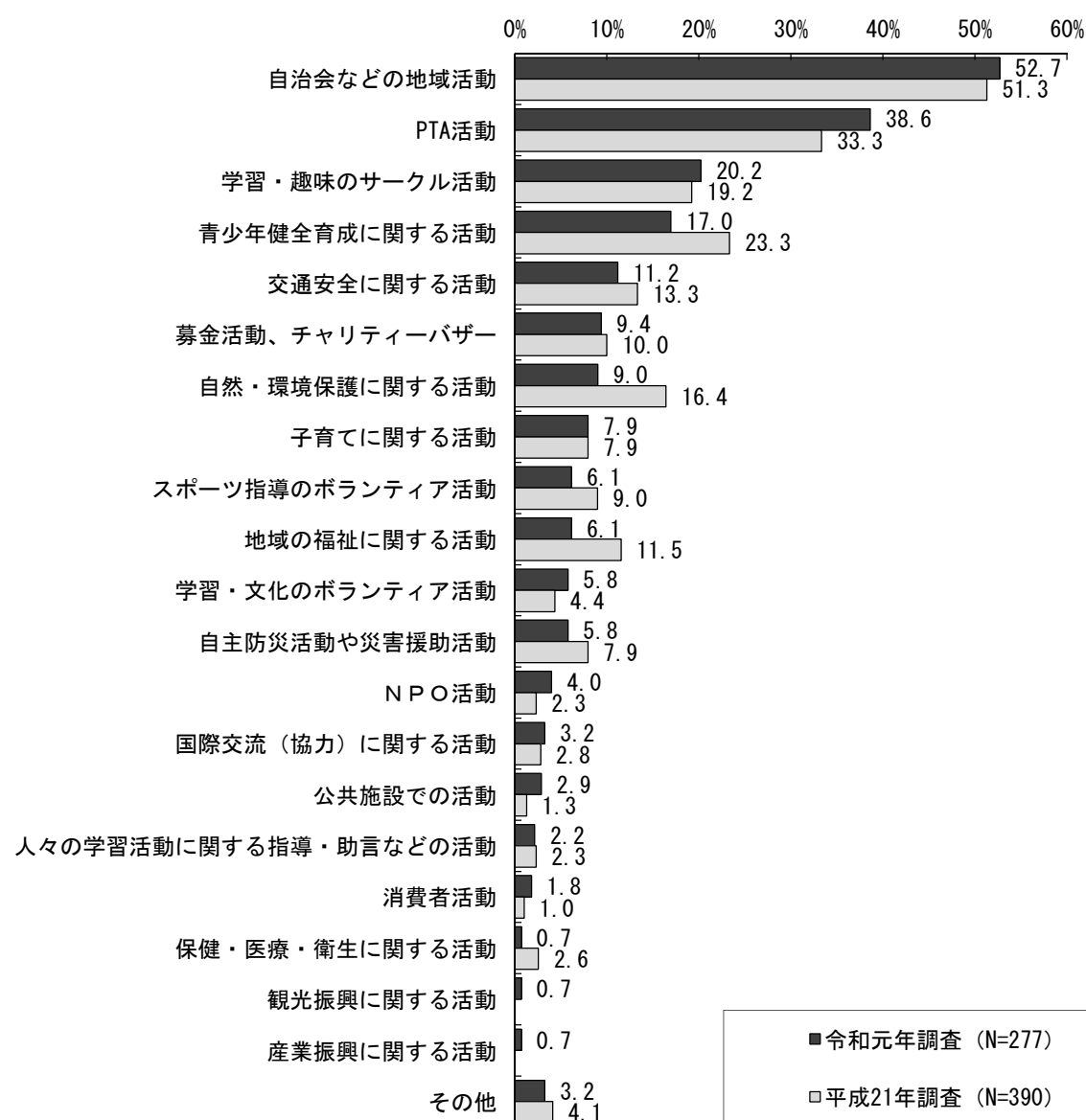
参加したことがある活動としては、「自治会などの地域活動」が25.3%で最も多く、次いで「PTA活動」が18.5%、「学習・趣味のサークル活動」が9.7%となっています。「特にない、わからない」が27.2%となっており、「不明・無回答」の24.8%にも特に活動をしていない人が含まれていると考えられます。



## ○地域の活動やボランティア活動に参加したことがある人のみの集計

地域の活動やボランティア活動に参加したことがある人（いずれか1つ以上の活動を回答した人）は全体の48.0%となっています。参加したことがある人のうち、「自治会などの地域活動」を回答したのが52.7%、「PTA活動」を回答したのが38.6%となっています。いずれも義務的な要素が強くなっており、自発的な活動に取り組む人はそれほど多くないと言えます。

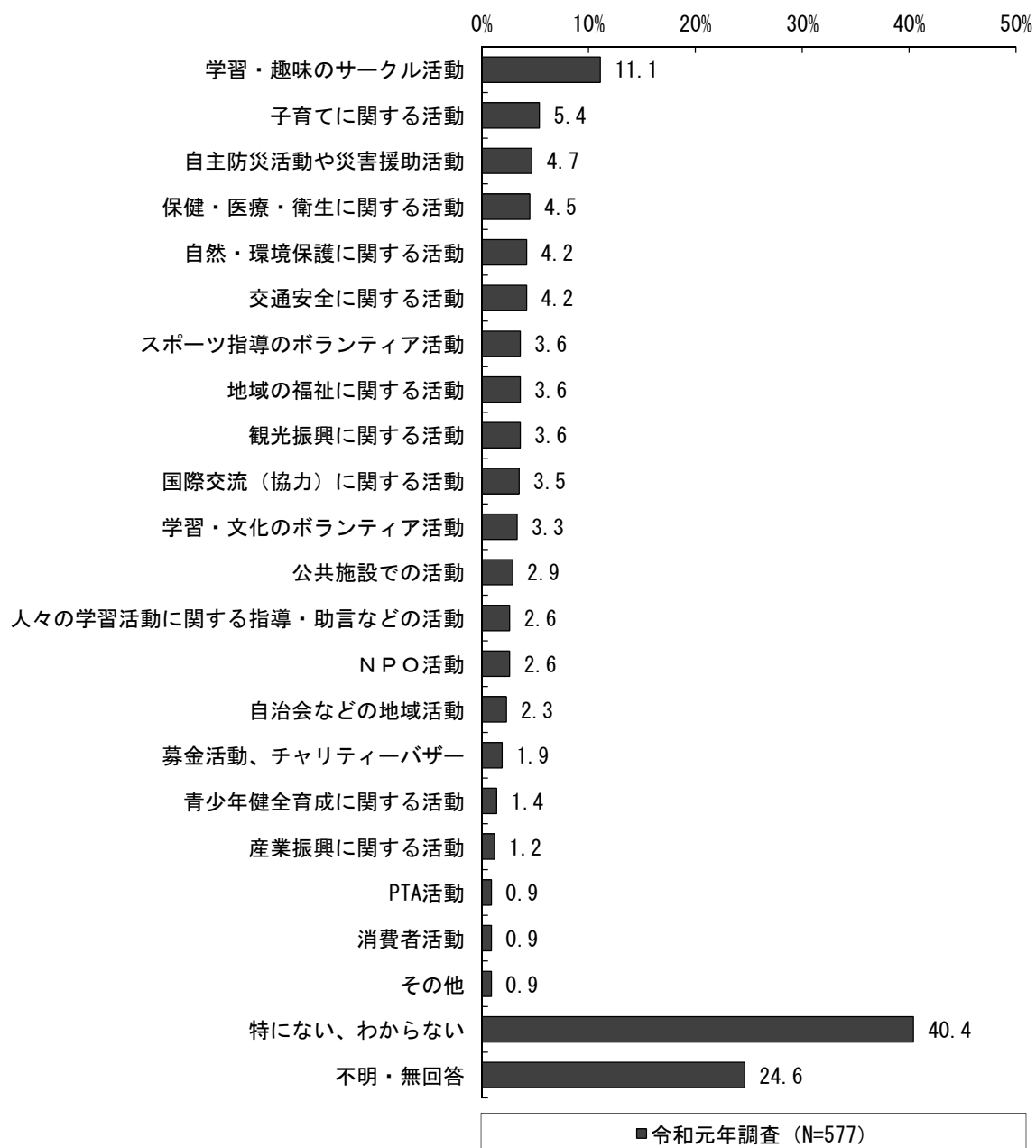
前回調査と比較すると、「PTA活動」が増加し、「青少年健全育成に関する活動」、「自然・環境保護に関する活動」、「地域の福祉に関する活動」が減少しています。



※「観光振興に関する活動」、「産業振興に関する活動」は、令和元年調査のみ。

## ② 今後参加したい活動

今後参加したい活動については、「学習・趣味のサークル活動」が11.1%で最も多く、次いで「子育てに関する活動」が5.4%となっています。参加したことがある人が多かった「自治会などの地域活動」や「PTA活動」は下位となっており、自発的に参加を希望する人が少ないことがうかがえます。「特にない、わからない」が40.4%と回答の中では最も多く、今後参加したい活動について特に考えていない市民が多数であることがうかがえます。



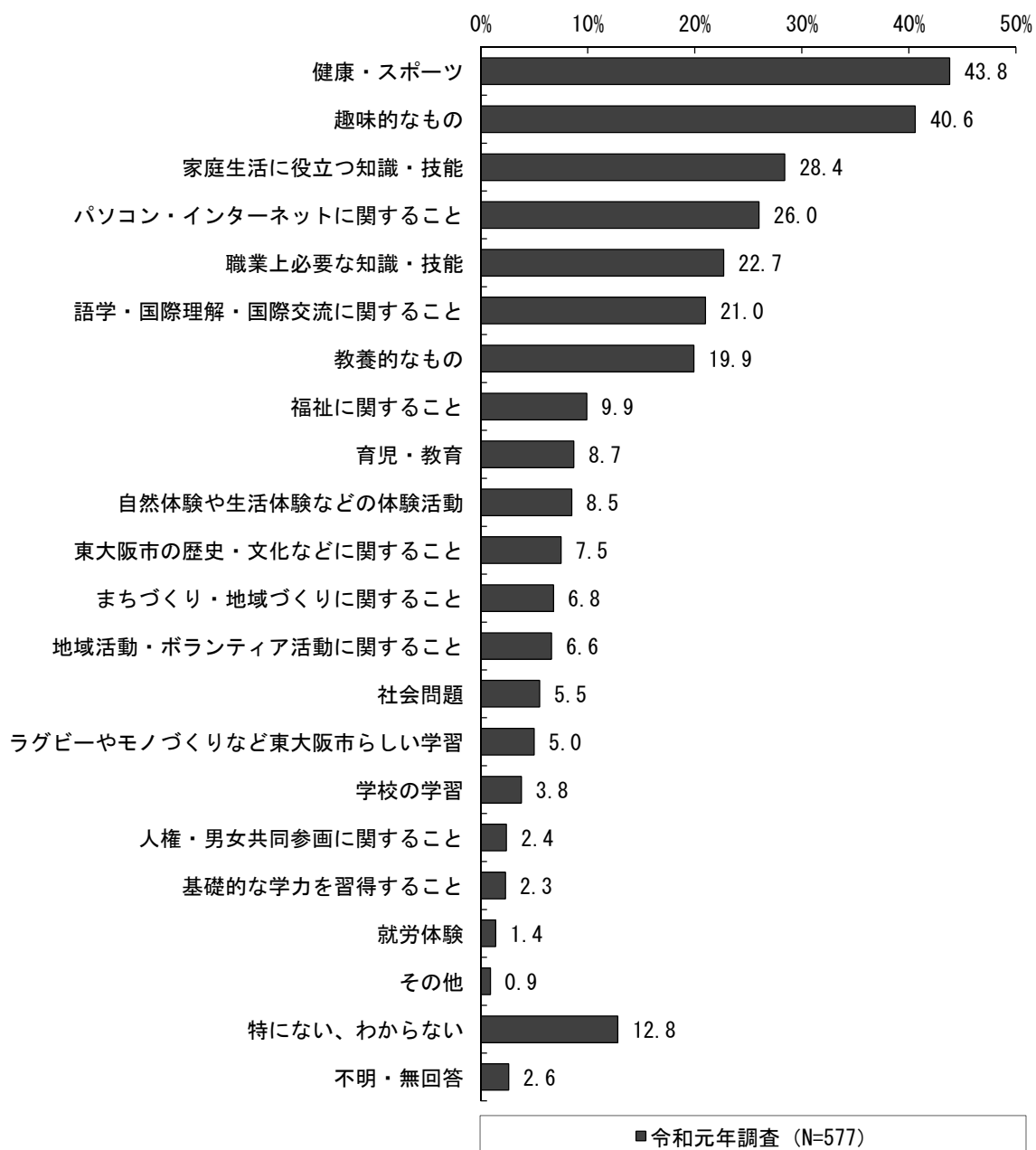
## 2. 今後の生涯学習の意向について

〔調査票／問8〕

(1) あなたがこれから学習するとすれば、どのようなことを学習したいですか。

【複数回答】

これから学習したいことについては、「健康・スポーツ」が43.8%で最も多く、次いで「趣味的なもの」が40.6%となっています。「家庭生活に役立つ知識・技能」、「パソコン・インターネットに関すること」、「職業上必要な知識・技能」、「語学・国際理解・国際交流に関すること」も2割台の回答があり、「特にない、わからない」は12.8%となっています。



## ○性別・年齢別にみた学習したいこと

性別では、全体で10%以上の回答があった選択肢のうち、「職業上必要な知識・技能」、「教養的なもの」以外は全て、女性の回答が多くなっており、「育児・教育」についても女性の回答が多くなっています。

年齢別では、「家庭生活に役立つ知識・技能」、「職業上必要な知識・技能」、「語学・国際理解・国際交流に関すること」はより若い世代で多く、「育児・教育」、「自然体験や生活体験などの体験活動」は30歳代以下で多くなっています。「健康・スポーツ」は30歳代から60歳代で、「東大阪市の歴史・文化などに関すること」は60歳代以上で、「教養的なもの」は60歳代で、「社会問題」は20歳代以下でそれぞれ多く、70歳以上は全体的に回答が少なくなっています。

学歴別では、ほとんどの項目で学歴が高い人の回答が多くなっていますが、「健康・スポーツ」、「家庭生活に役立つ知識・技能」、「パソコン・インターネットに関すること」では比較的差が小さく、「基礎的な学力を習得すること」は学歴の低い人のみが回答しています。

### ■性別・年齢別にみた学習希望

(%)

	健康・スポーツ	趣味的なもの	家庭生活に役立つ知識・技能	パソコン・インターネットに関すること	職業上必要な知識・技能	語学・国際理解・国際交流に関すること	教養的なもの	福祉に関すること
全体(n=577)	43.8	40.6	28.4	26.0	22.7	21.0	19.9	9.9
男性(n=227)	37.9	32.2	12.8	19.8	24.7	15.0	20.3	7.5
女性(n=336)	48.5	47.3	39.0	30.1	21.4	25.3	19.6	11.3
20歳代以下(n=47)	27.7	48.9	51.1	40.4	63.8	38.3	21.3	10.6
30歳代(n=55)	49.1	50.9	50.9	21.8	32.7	34.5	14.5	9.1
40歳代(n=96)	49.0	41.7	31.3	33.3	38.5	27.1	16.7	5.2
50歳代(n=101)	51.5	45.5	25.7	33.7	23.8	20.8	22.8	7.9
60歳代(n=128)	51.6	47.7	25.0	27.3	12.5	18.0	30.5	11.7
70歳以上(n=136)	31.6	25.0	14.0	10.3	2.2	8.1	12.5	12.5
小・中・高等学校卒業(n=365)	41.9	36.2	26.6	23.6	19.2	14.5	15.3	8.2
短大・高専・大学・大学院卒業(n=196)	49.0	50.0	31.6	30.1	29.6	33.7	29.1	12.8

■性別・年齢別にみた学習希望(つづき)

(%)

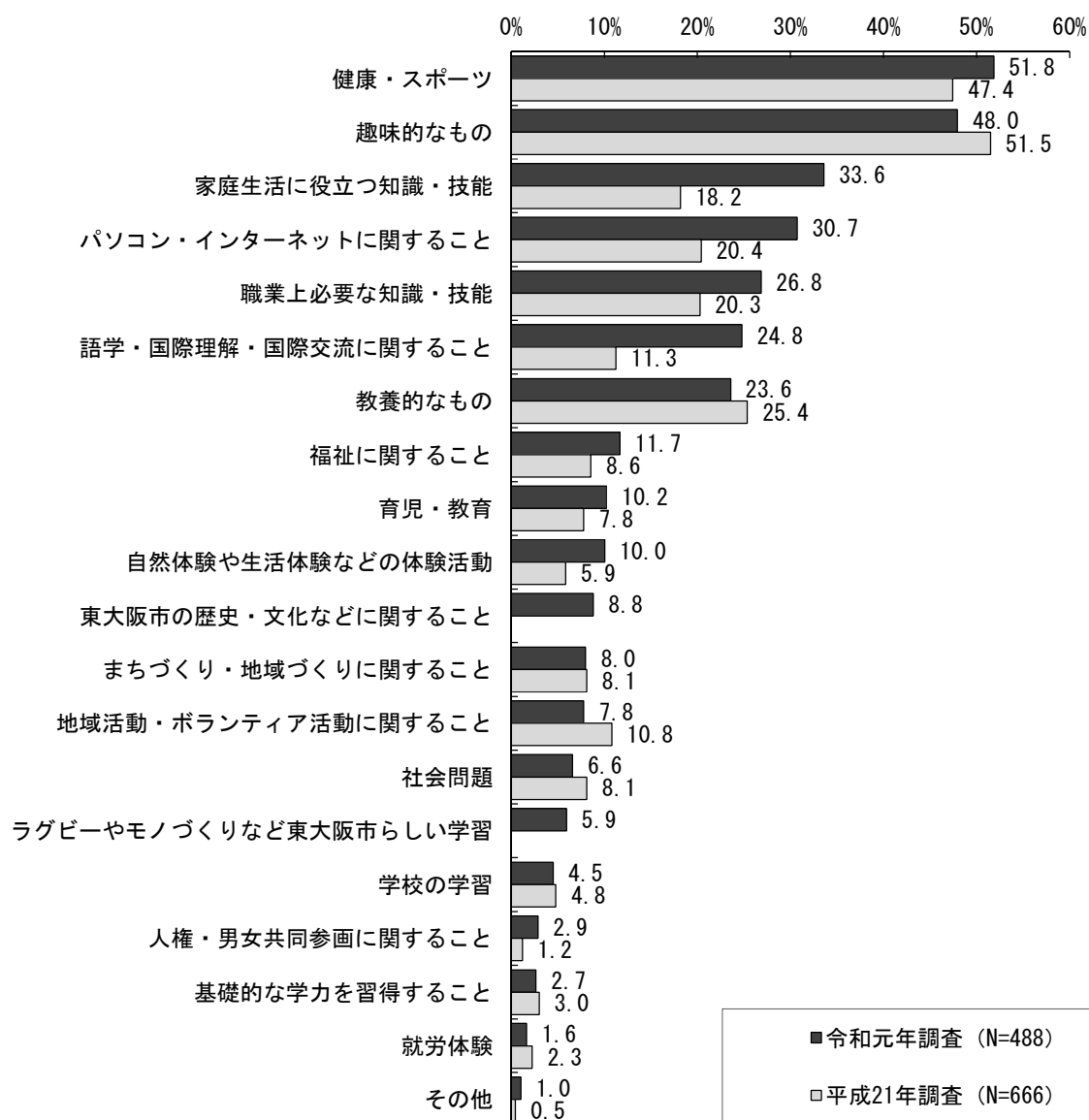
	育児・教育	自然体験や生活体験などの体験活動	東大阪市の歴史・文化などに関すること	まちづくり・地域づくりに関すること	地域活動・ボランティア活動やそのために必要な知識・技能	社会問題	ラグビーやモノづくりなどの東大阪らしい学習や体験	学校の学習
全体(n=577)	8.7	8.5	7.5	6.8	6.6	5.5	5.0	3.8
男性(n=227)	3.1	5.7	9.3	6.2	5.3	7.5	7.0	3.1
女性(n=336)	12.8	9.8	6.5	7.1	7.7	4.5	3.6	4.5
20歳代以下(n=47)	14.9	14.9	4.3	10.6	10.6	17.0	4.3	10.6
30歳代(n=55)	32.7	16.4	1.8	3.6	7.3	0.0	5.5	1.8
40歳代(n=96)	9.4	1.0	1.0	2.1	5.2	1.0	2.1	4.2
50歳代(n=101)	6.9	7.9	5.0	7.9	6.9	5.9	5.9	5.0
60歳代(n=128)	6.3	10.2	13.3	10.2	6.3	10.2	7.8	3.1
70歳以上(n=136)	0.7	5.9	12.5	5.9	6.6	2.9	3.7	2.2
小・中・高等学校卒業(n=365)	6.6	6.3	6.3	5.2	4.7	3.8	3.8	3.3
短大・高専・大学・大学院卒業(n=196)	13.3	11.7	10.2	9.2	10.7	8.7	7.1	4.6

	人権・男女共同参画に関すること	基礎的な学力を習得すること	就労体験	その他	特になし、わからない	不明・無回答
全体(n=577)	2.4	2.3	1.4	0.9	12.8	2.6
男性(n=227)	0.9	2.2	1.8	1.3	18.1	3.1
女性(n=336)	3.6	2.4	1.2	0.6	8.9	2.1
20歳代以下(n=47)	2.1	2.1	8.5	0.0	2.1	0.0
30歳代(n=55)	3.6	1.8	1.8	3.6	3.6	0.0
40歳代(n=96)	3.1	0.0	0.0	1.0	7.3	0.0
50歳代(n=101)	2.0	1.0	1.0	1.0	10.9	0.0
60歳代(n=128)	3.9	2.3	0.8	0.0	14.1	2.3
70歳以上(n=136)	0.7	5.1	0.7	0.7	23.5	8.1
小・中・高等学校卒業(n=365)	0.8	3.3	1.4	0.5	16.7	3.6
短大・高専・大学・大学院卒業(n=196)	5.6	0.0	1.5	1.5	5.1	0.5



## ○これから学習したいことがある人のみの集計

これから学習したいことがある人のみの集計を前回調査と比較すると、「家庭生活に役立つ知識・技能」、「語学・国際理解・国際交流に関すること」が増加しています。

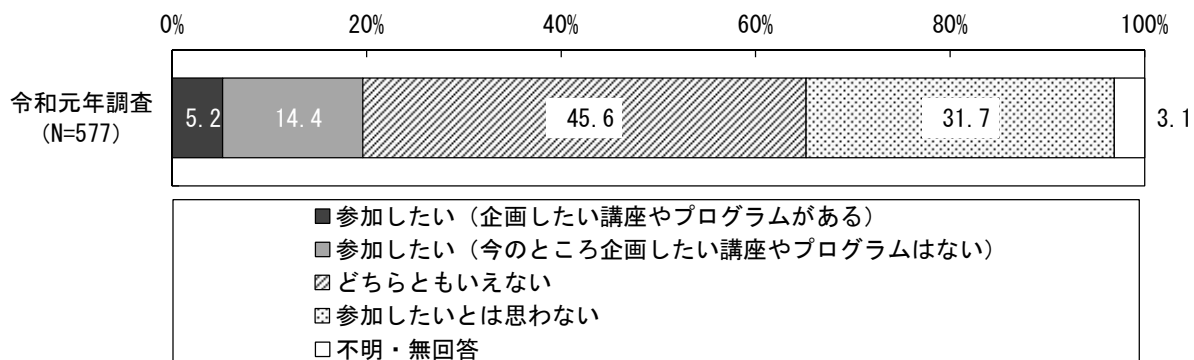


※「東大阪市の歴史・文化などに関すること」、「ラグビーやモノづくりなど東大阪市らしい学習」は、令和元年調査のみ。平成21年調査は回答数を【3つまで】に制限。

〔調査票／問9〕

(2) あなたは生涯学習に関する市民向け講座の企画やプログラムづくりなど、市民の学習を支援する活動に参加してみたいと思いますか。

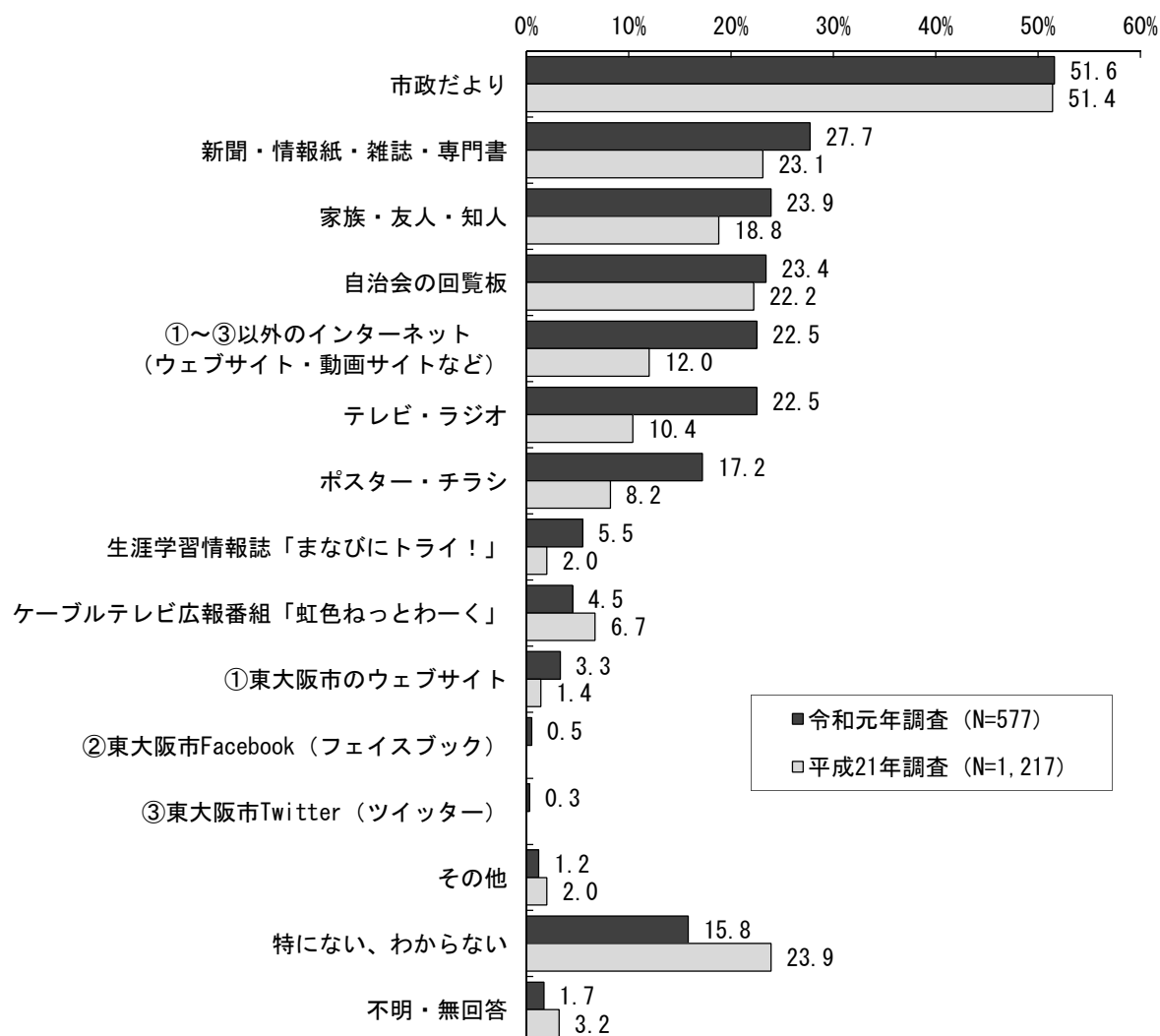
「参加したい（企画したい講座やプログラムがある）」は 5.2%となっており、「参加したい（今のところ企画したい講座やプログラムはない）」の 14.4%と合わせると、約2割の人が市民の学習を支援する活動に参加したいと回答しています。



（3）あなたは、学習に関する情報をどのように得ていますか。【複数回答】

学習に関する情報の入手先については、「市政だより」が51.6%で最も多く、「新聞・情報紙・雑誌・専門書」、「家族・友人・知人」、「自治会の回覧板」、「①～③以外のインターネット」、「テレビ・ラジオ」がいずれも2割台となっています。「市政だより」以外の東大阪市の情報発信（生涯学習情報誌、ケーブルテレビ、ウェブサイト等）については、いずれも1割に満たない回答となっています。

前回調査と比べると、「①～③以外のインターネット」、「テレビ・ラジオ」、「ポスター・チラシ」が増加しており、「特にない、わからない」が減少しています。



※「東大阪市 Facebook」、「東大阪市 Twitter」は、令和元年調査のみ。平成 21 年調査は回答数を【3 つまで】に制限。

○性別・年齢別にみた学習に関する情報をどのように得ているか

性別では、全体で10%以上の回答があった選択肢のうち、「新聞・情報紙・雑誌・専門書」以外は全て、女性の回答が多くなっており、「育児・教育」についても女性の回答が多くなっており、「特にない、わからない」は男性の方が多くなっています。

年齢別では、「新聞・情報紙・雑誌・専門書」、「自治会の回覧板」はより年配の世代で多く、「①～③以外のインターネット」はより若い世代で多くなっています。また、「①～③以外のインターネット」は70歳以上で特に回答が少なくなっています。「市政だより」は20歳以下で特に回答が少なく、60歳以上で多くなっています。「テレビ・ラジオ」は60歳代以上で多くなっています。

■性別・年齢別にみた学習希望

(%)

	市政だより	新聞・情報紙・雑誌・専門書	家族・友人・知人	自治会の回覧板	①～③以外のインターネット(ウェブサイト・動画サイトなど)	テレビ・ラジオ	ポスター・チラシ	生涯学習情報誌「まなびにトライ!」
全体(n=577)	51.6	27.7	23.9	23.4	22.5	22.5	17.2	5.5
男性(n=227)	41.9	30.4	18.5	18.1	23.3	19.4	11.5	2.2
女性(n=336)	58.3	25.9	28.3	26.8	22.6	24.4	21.4	8.0
20歳代以下(n=47)	14.9	17.0	31.9	2.1	44.7	17.0	10.6	0.0
30歳代(n=55)	45.5	16.4	29.1	14.5	30.9	21.8	14.5	7.3
40歳代(n=96)	54.2	18.8	22.9	13.5	22.9	14.6	14.6	6.3
50歳代(n=101)	47.5	25.7	20.8	22.8	31.7	16.8	14.9	4.0
60歳代(n=128)	59.4	32.0	21.9	26.6	22.7	27.3	20.3	9.4
70歳以上(n=136)	60.3	39.7	25.7	38.2	5.9	29.4	22.1	4.4

■性別・年齢別にみた学習希望（つづき）

（％）

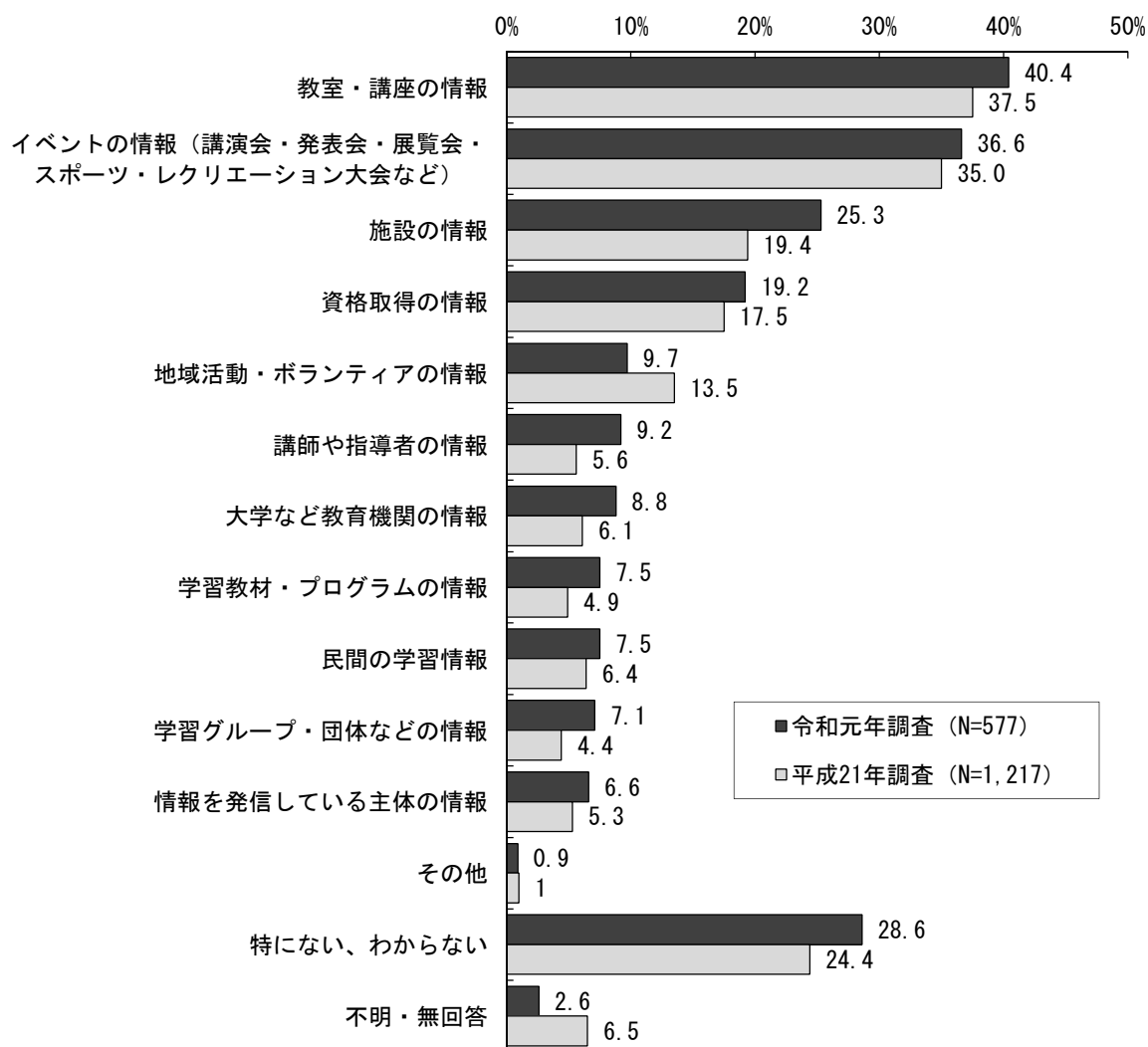
	く 番組「虹色ねとわ ケーブルテレビ広報 サイト	①東大阪市のウェブ サイト	②東大阪 市 Facebook（フェイスブ ック）	③東大阪 市 Twitter （ツイッター）	その他	特 に な い 、 わ か ら な い	不明・無回答
全体(n=577)	4.5	3.3	0.5	0.3	1.2	15.8	1.7
男性(n=227)	5.3	4.0	0.4	0.9	1.3	20.3	1.8
女性(n=336)	3.9	3.0	0.6	0.0	1.2	12.5	1.5
20歳代以下(n=47)	4.3	2.1	2.1	2.1	4.3	21.3	4.3
30歳代(n=55)	1.8	3.6	1.8	0.0	1.8	16.4	0.0
40歳代(n=96)	1.0	5.2	0.0	0.0	3.1	20.8	0.0
50歳代(n=101)	3.0	4.0	0.0	0.0	1.0	15.8	0.0
60歳代(n=128)	5.5	3.1	0.8	0.8	0.0	14.8	0.0
70歳以上(n=136)	8.1	2.2	0.0	0.0	0.0	11.0	5.1

〔調査票／問 11〕

(4) あなたはどのような生涯学習に関する情報を望みますか。【複数回答】

生涯学習に関する情報の希望については、「教室・講座の情報」が40.4%で最も多く、次いで「イベントの情報」が36.6%、「施設の情報」が25.3%となっています。

前回調査と比べて、「施設の情報」がやや増加し、「地域活動・ボランティアの情報」が減少しており、個人的な学習への志向がやや強まっていることが考えられます。



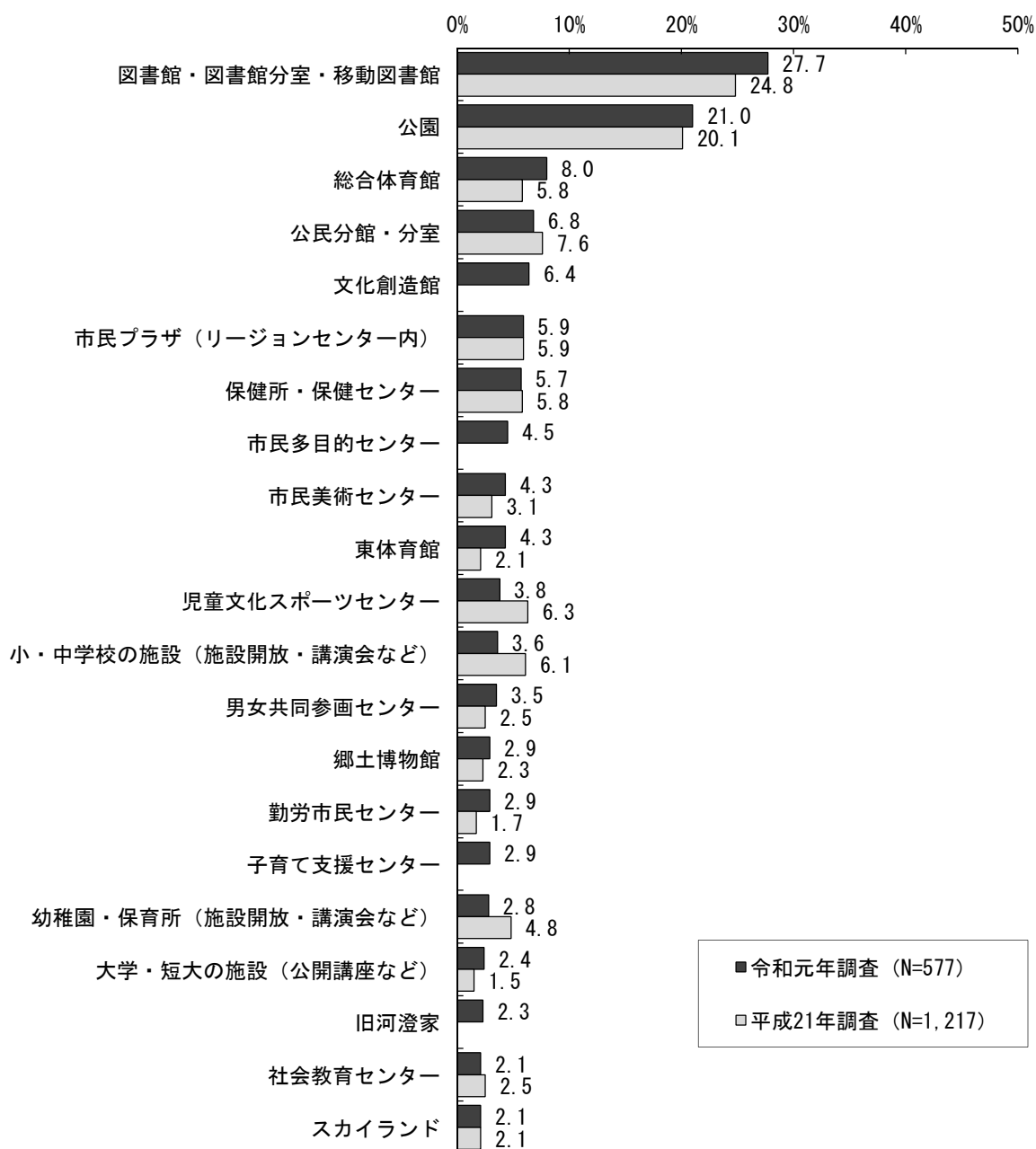
※平成 21 年調査は回答数を【3つまで】に制限。

### 3. 生涯学習関連施設について

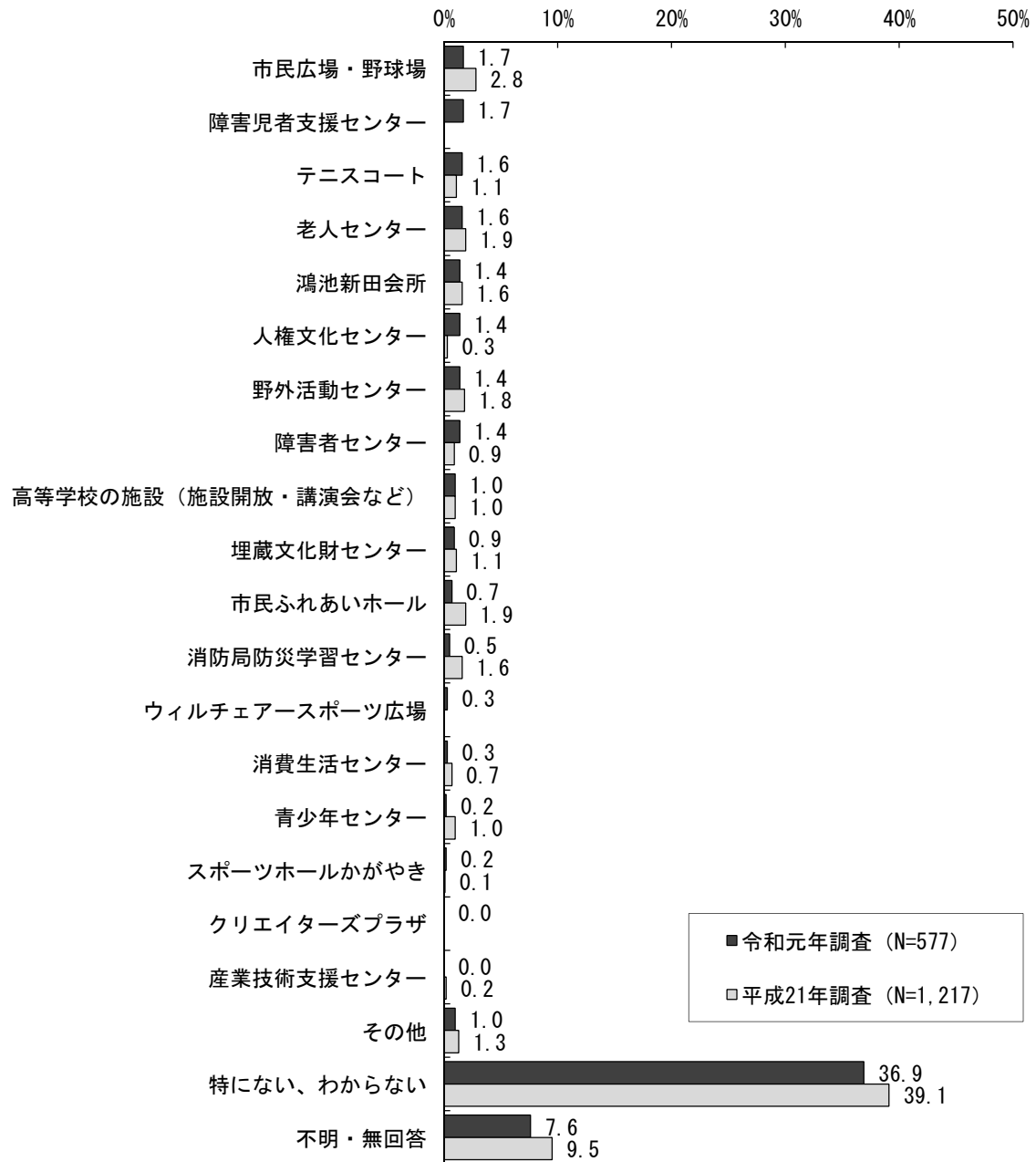
〔調査票／問 12〕

(1) この1年くらいの間に、以下に示したような市内の「生涯学習関連施設」を利用したことがありますか。【複数回答】

この1年くらいの間に最も利用したことが多かったのは「図書館・図書館分室・移動図書館」の27.7%となっています。次いで、「公園」が21.0%となっています。これら以外は全て1割未満の回答です。



※グラフの続きは次ページ。「文化創造館」「市民多目的センター」「子育て支援センター」「旧河澄家」は令和元年調査のみ。



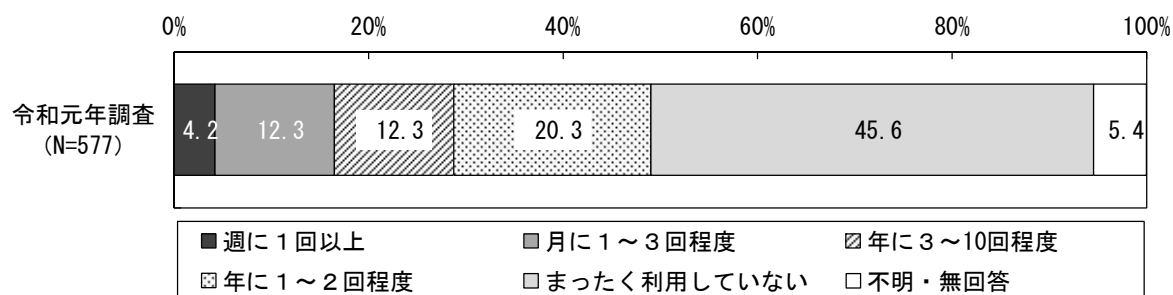
※「障害児者支援センター」「ウィルチェアスポーツ広場」「クリエイターズプラザ」は令和元年調査のみ。



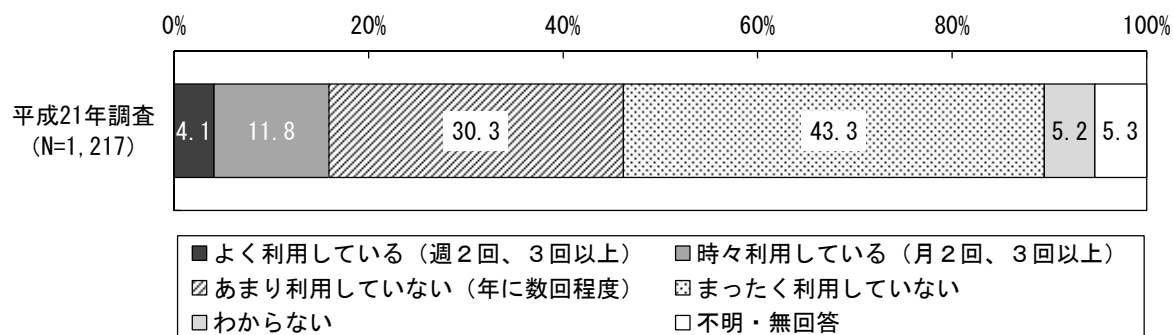
〔調査票／問 13〕

(2) あなたはふだん、「生涯学習関連施設」をどのくらい利用していますか

生涯学習関連施設の利用状況をみると、「週に1回以上」は4.2%、「月に1～3回程度」と「年に3～10回程度」がいずれも12.3%となっています。「まったく利用していない」は45.6%となっています。前回調査とは選択肢が異なりますが、利用状況に大きな違いは見られません。



○【参考】平成21年調査「生涯学習関連施設」をどのくらい利用しているか

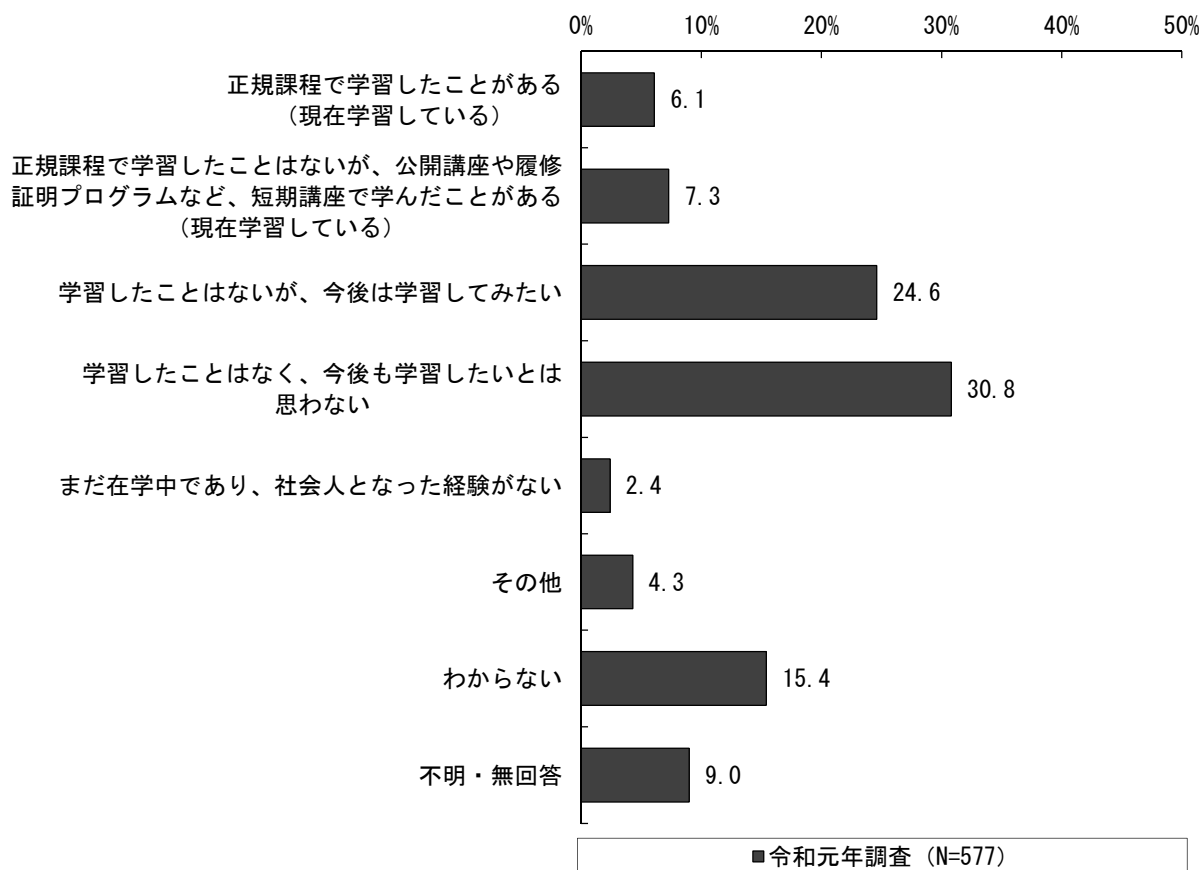


## 4. 大学などにおける社会人の学習について

〔調査票／問 14〕

(1) あなたは、学校を出て一度社会人となった後に、大学、大学院、短大、専門学校などの学校において学習したことがありますか。

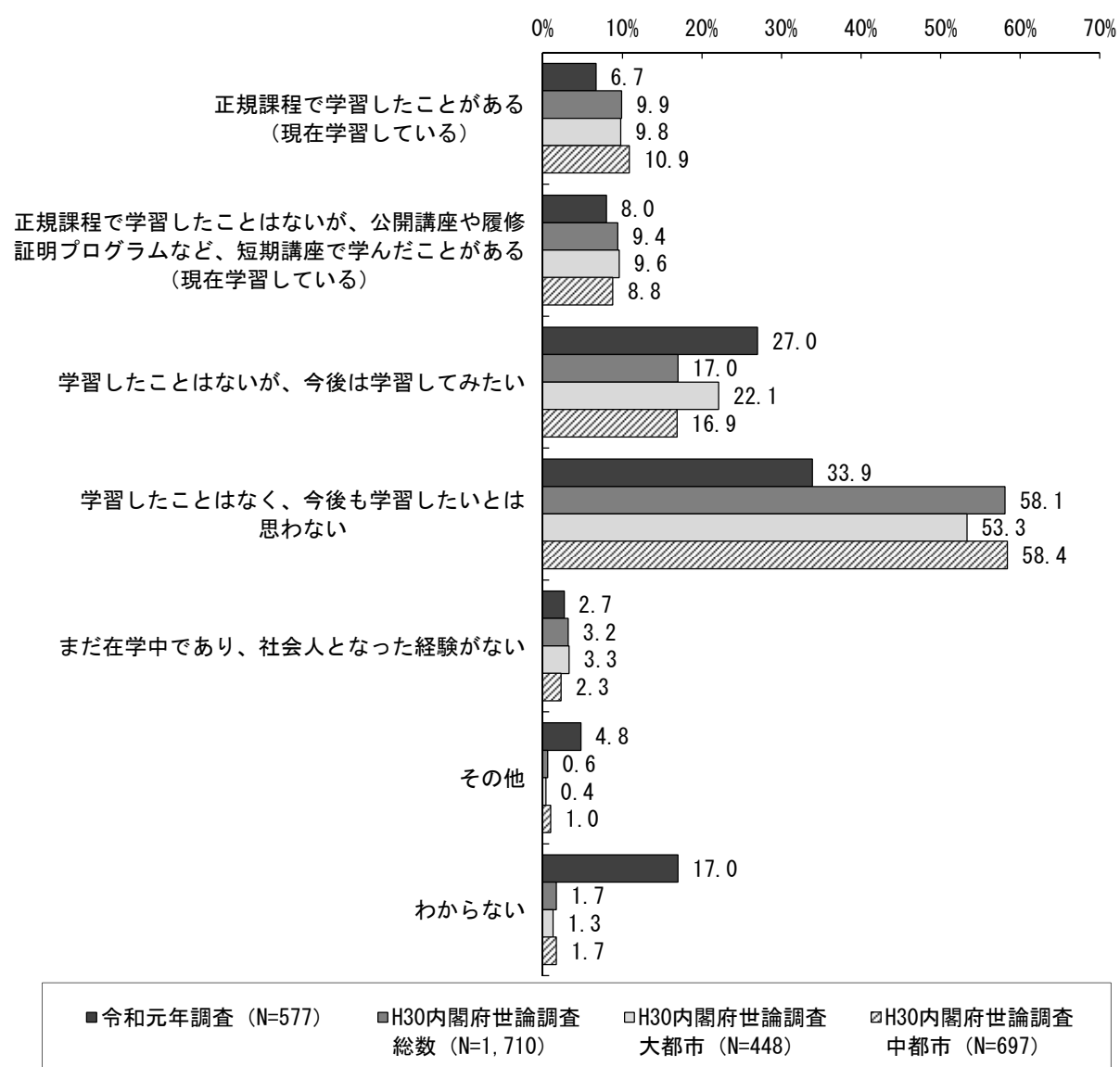
社会人になってから大学等で学習した経験については、「正規課程で学習したことがある」が6.1%、「公開講座や履修証明プログラムなど短期講座で学んだことがある」の7.3%と合わせると、全体の13.4%が大学等で学習した経験があると回答しています。また、24.6%が「学習したことはないが、今後は学習してみたい」と回答しています。「学習したことはなく、今後も学習したいとは思わない」は30.8%となっており、学習経験があるか学習を希望する回答の方が多くなっています。



## ○全国調査との比較

問 14 から問 16 は、平成 30 年に内閣府が実施した全国調査である「生涯学習に関する世論調査」と同じ設問となっており、結果を比較することができます。

本市では正規課程、または公開講座等で「学習したことが（学んだことが）ある」という回答がやや少ない一方、「学習したことはないが、今後は学習してみたい」が多くなっています。

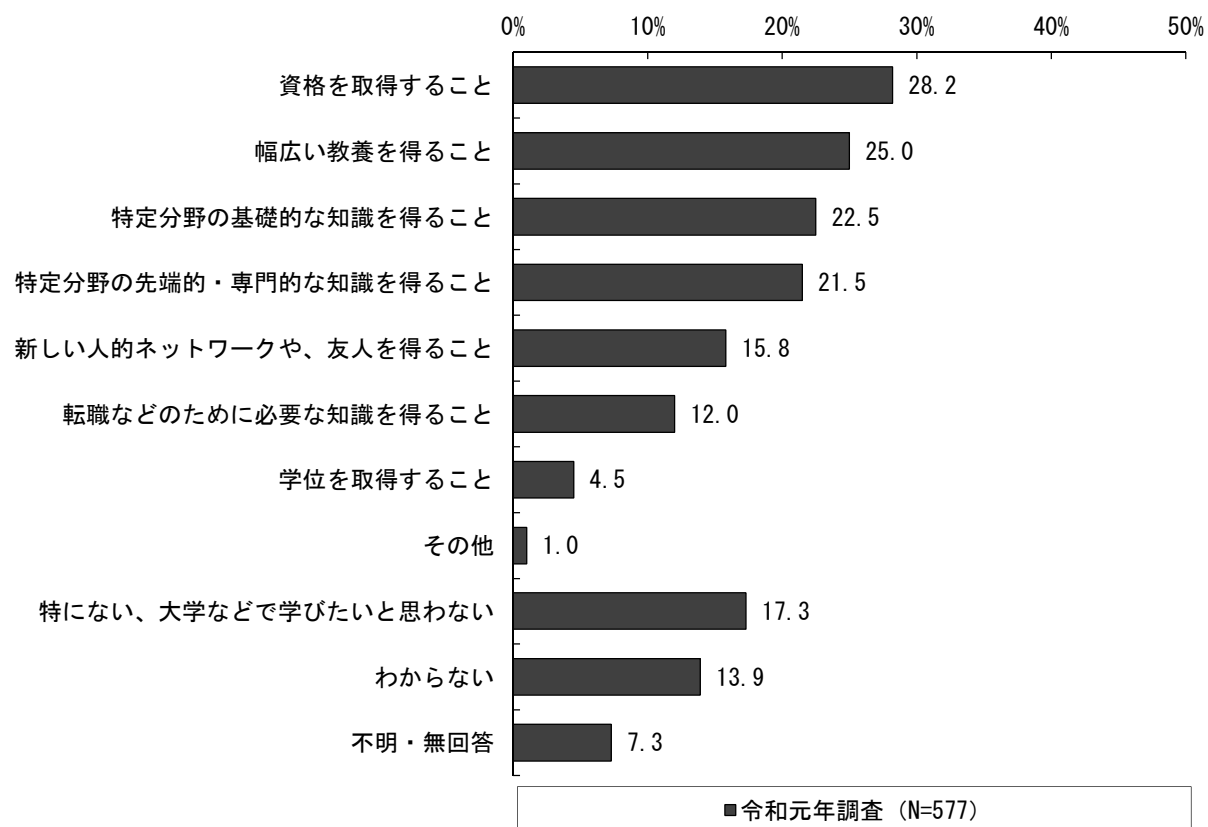


※平成 30 年内閣府世論調査の「大都市」は東京都区部及び政令指定都市、「中都市」は「大都市」を除く人口 10 万人以上の市である。なお、全国調査との比較においては、内閣府世論調査の集計に合わせて、「不明・無回答」を除いた集計を比較している（以下同様）。

〔調査票／問 15〕

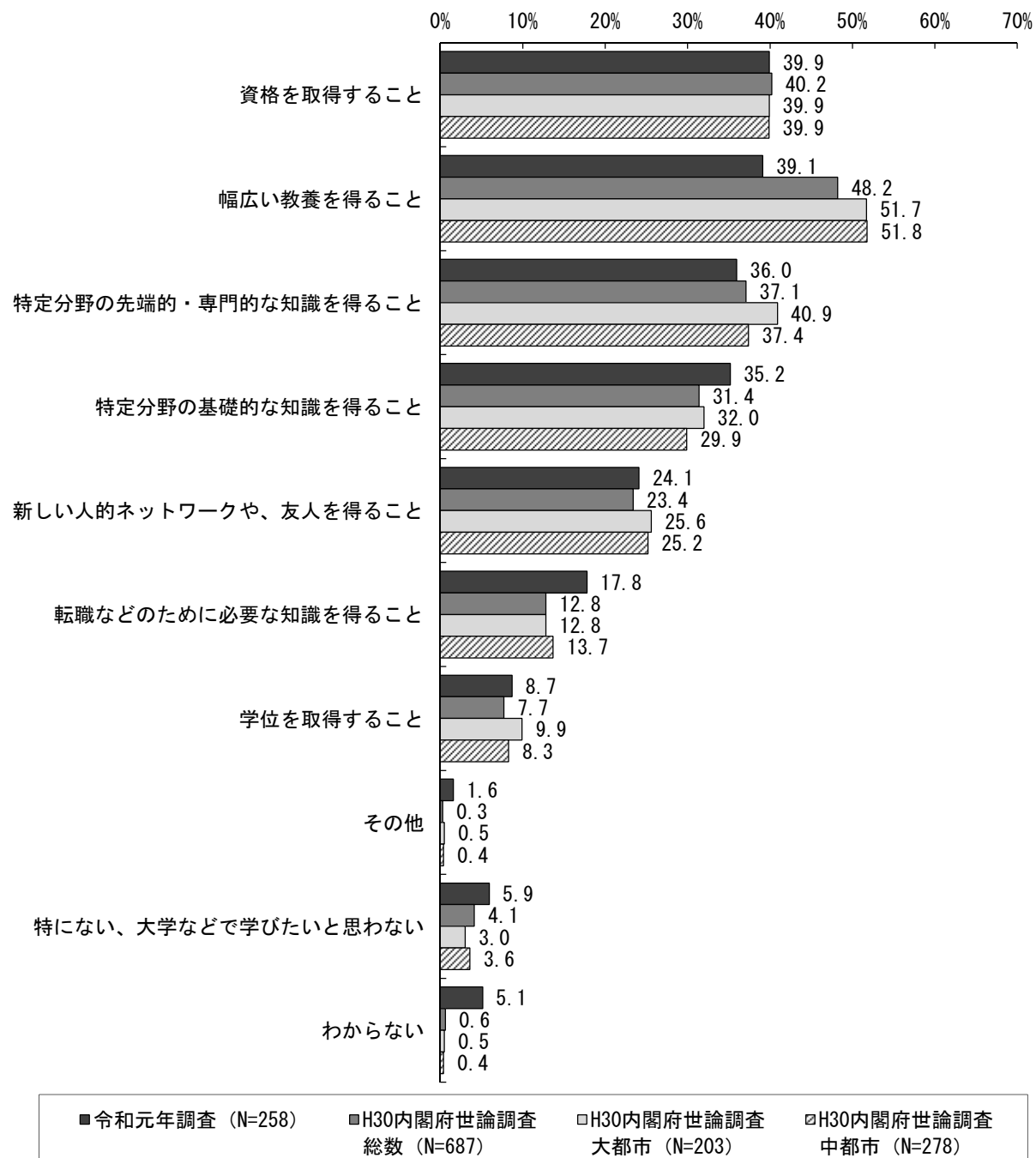
(2) これから社会人として大学などで学ぶとすれば、どのような成果を期待しますか。【複数回答】

社会人として大学で学ぶことについて期待することでは、「資格を取得すること」が 28.2%で最も多く、次いで「幅広い教養を得ること」が 25.0%、「特定分野の基礎的な知識を得ること」が 22.5%となっています。



○全国調査との比較（問 14 で「学習したことはなく、今後も学習したいと思わない」と「わからない」以外を回答した人のみの集計）

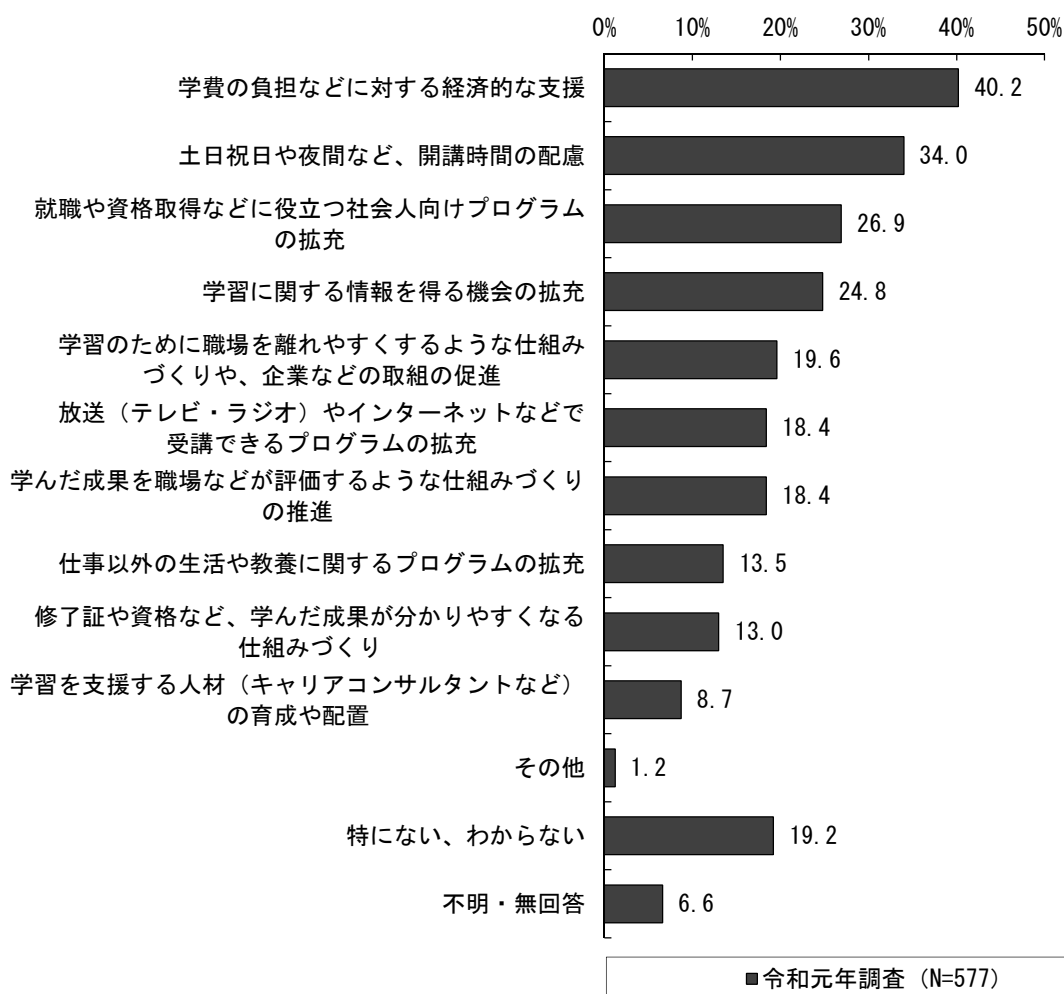
全国調査と比較すると本市では、「幅広い教養を得ること」が少なく、「転職などのために必要な知識を得ること」が多くなっています。



〔調査票／問 16〕

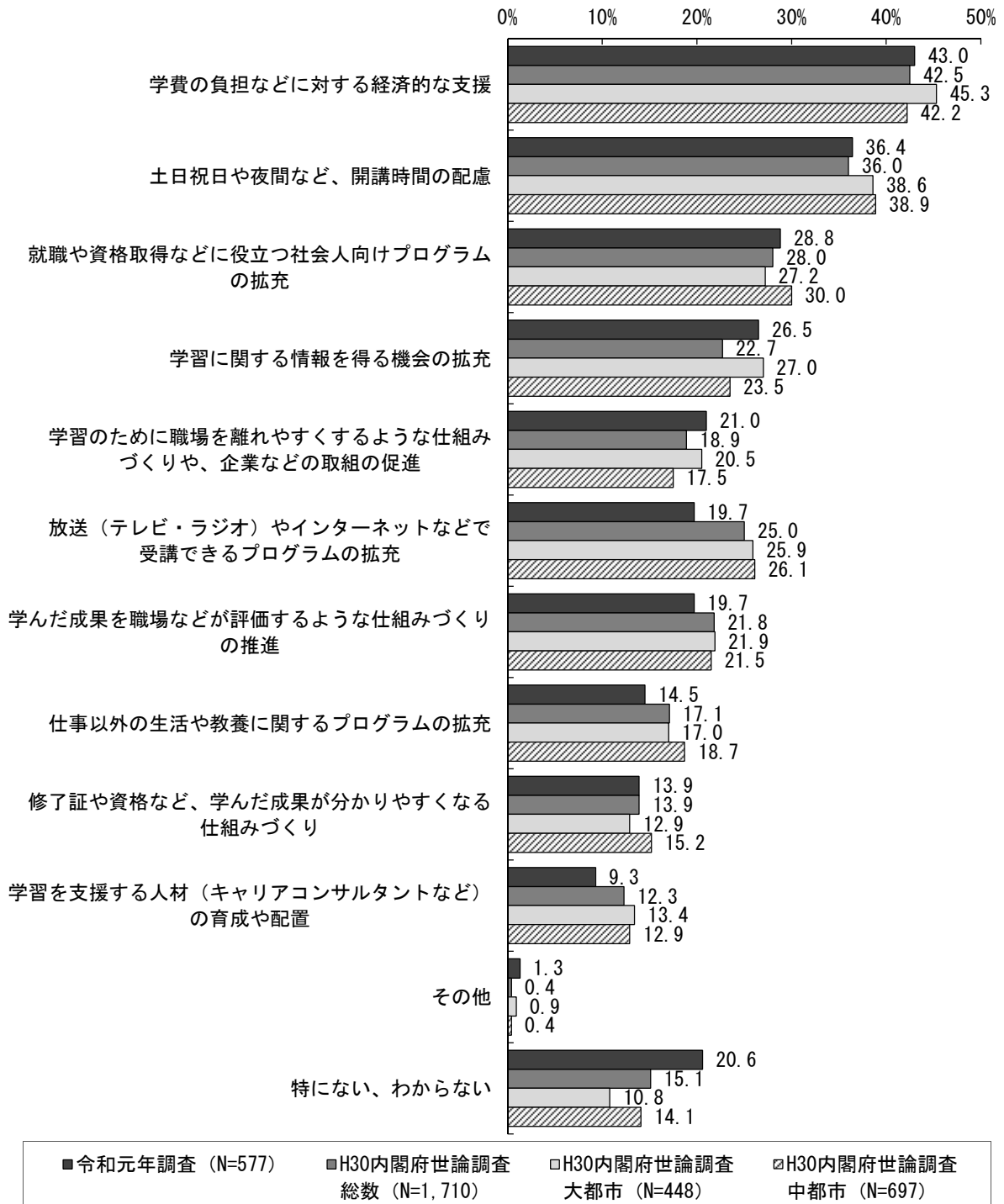
(3) 社会人が大学などで学習しやすくするためには、どのような取組が必要だと思いますか。【複数回答】

社会人が大学などで学習しやすくするための取組については、「学費の負担などに対する経済的な支援」が40.2%で最も多く、次いで「土日祝日や夜間など、開講時間の配慮」が34.0%、「就職や資格取得などに役立つ社会人向けプログラムの拡充」が26.9%となっています。



○全国調査との比較

全国調査と比較すると本市では、「放送やインターネットなどで受講できるプログラムの拡充」が少なくなっています。

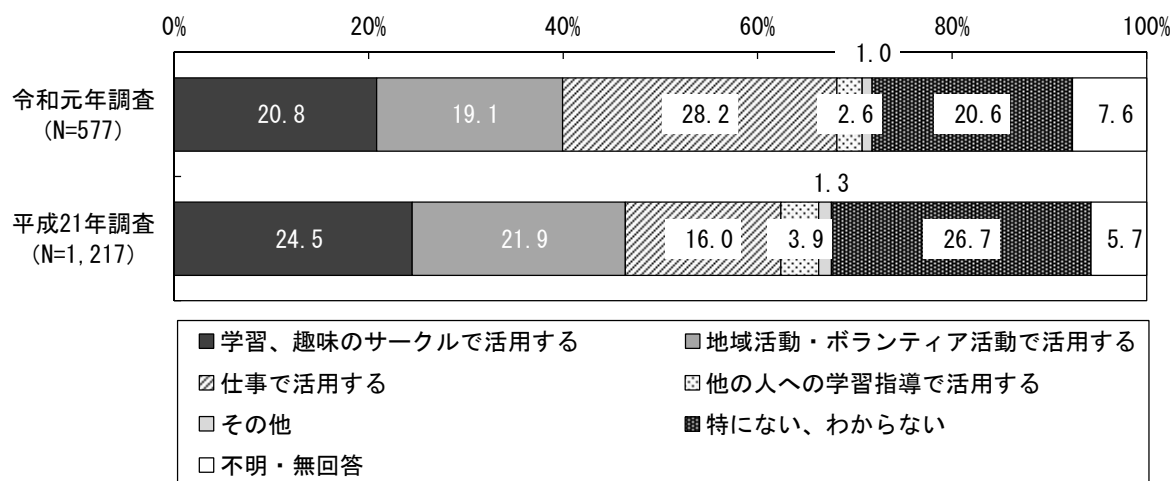


## 5. 生涯学習の振興について

〔調査票／問 17〕

(1) 生涯学習を通じて身に付けた知識や技能などを社会的に活用するのであれば、どのように活用すればよいと思いますか。

生涯学習を通じて身に付けた知識や技能の社会的な活用については、「仕事で活用する」が28.2%で最も多く、次いで「学習、趣味のサークルで活用する」が20.8%、「特にない、わからない」が20.6%となっています。前回調査と比較すると、「仕事で活用する」が増加しています。

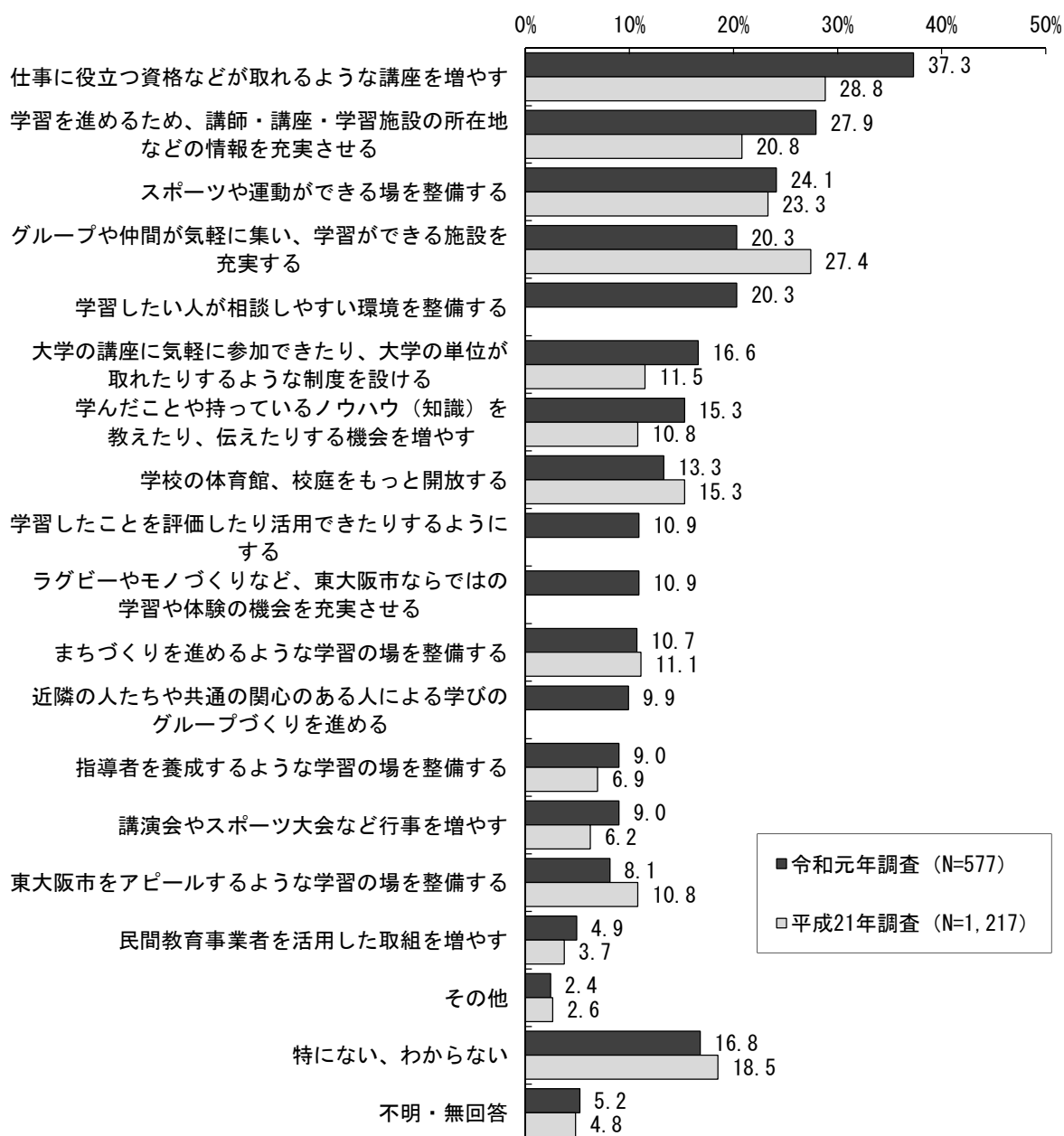




〔調査票／問 18〕

(2) これから学習や体験活動に参加していくには、東大阪市にどのようなことを望みますか。【複数回答】

これから学習や体験活動に参加していくために東大阪市に望むことについては、「仕事に役立つ資格などが取れるような講座を増やす」が37.3%で最も多く、次いで「学習を進めるため、講師・講座・学習施設の所在地などの情報を充実させる」が27.9%、「スポーツや運動ができる場を整備する」が24.1%となっています。前回調査と比較すると、「グループや仲間が気軽につどい、学習ができる施設を充実する」が減少しています。

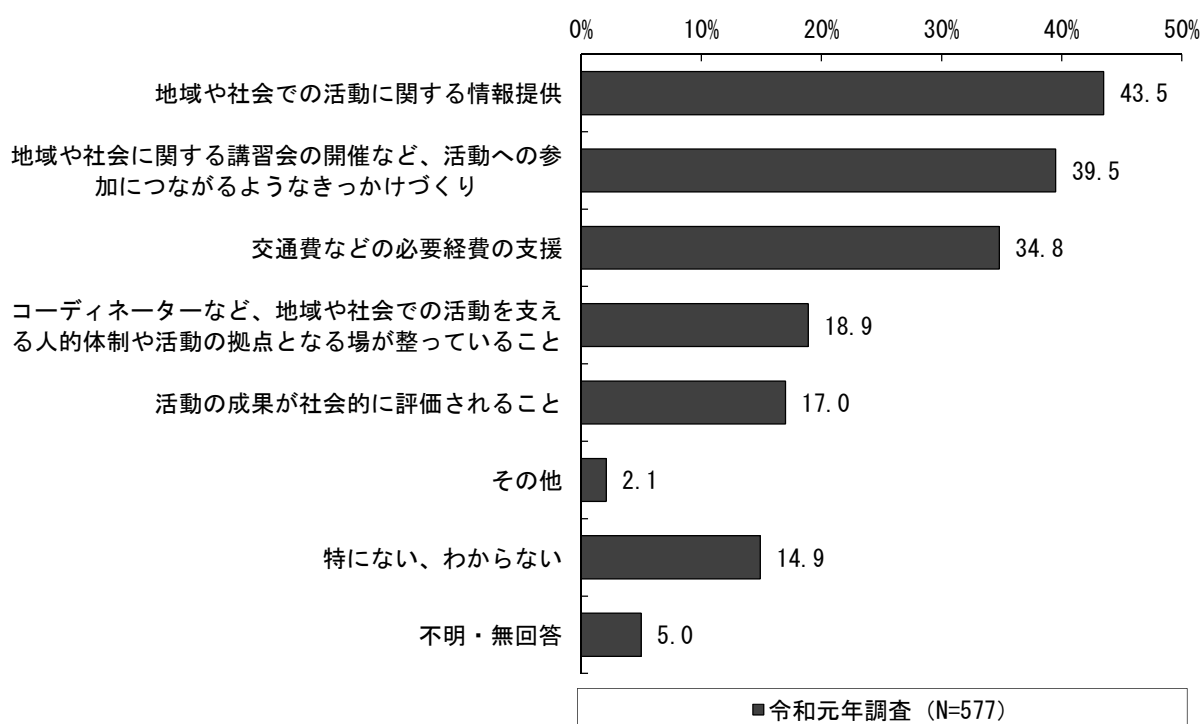


※「学習したい人が相談しやすい環境を整備する」、「学習したことを評価したり活用できたりするようにする」、「ラグビーやモノづくりなど、東大阪市ならではの学習や体験の機会を充実させる」、「近隣の人たちや共通の関心のある人による学びのグループづくりを進める」は、令和元年調査のみ。平成21年調査は回答数を【3つまで】に制限。

〔調査票／問 19〕

(3) 多くの人が地域や社会での活動（ボランティアを含む）に参加するようになるためには、どのようなことが必要だと思いますか。【複数回答】

多くの人が地域や社会での活動に参加するようになるために必要なことについては、「地域や社会での活動に関する情報提供」が43.5%で最も多く、次いで「地域や社会に関する講習会の開催など、活動への参加につながるようなきっかけづくり」が39.5%、「交通費などの必要経費の支援」が34.8%となっています。「活動の成果が社会的に評価されること」という回答は少なくなっています。

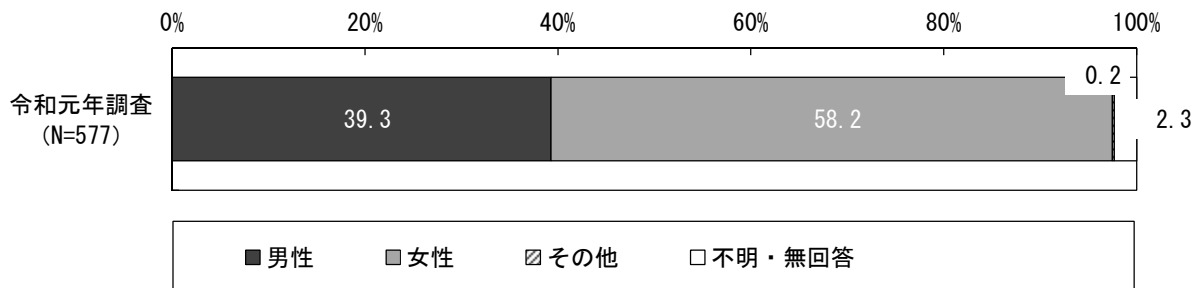


## 6. 回答者について

〔調査票／問 20〕

(1) あなたの性別を教えてください。

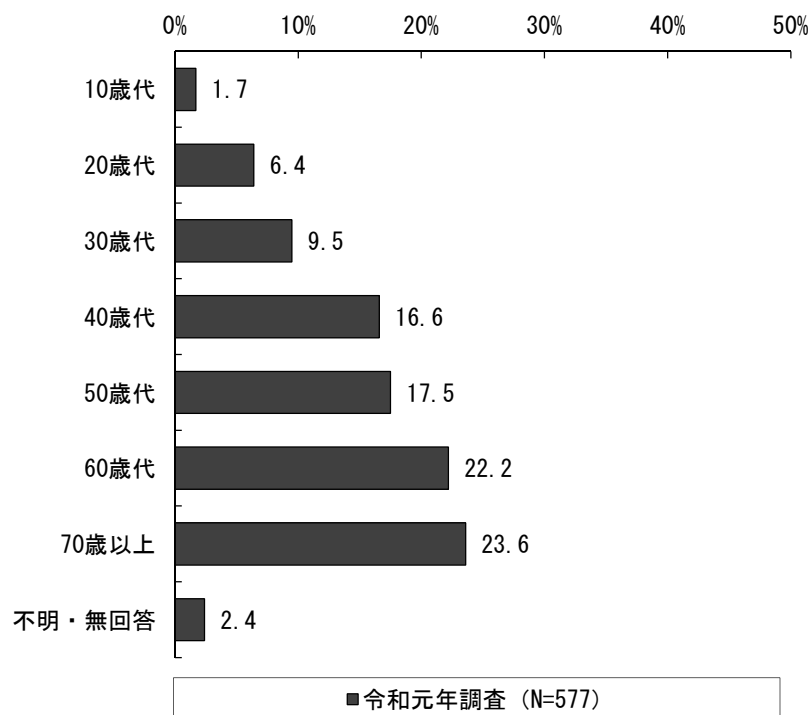
女性が58.2%で男性より多く回答しています。



〔調査票／問 21〕

(2) あなたの年齢を教えてください。

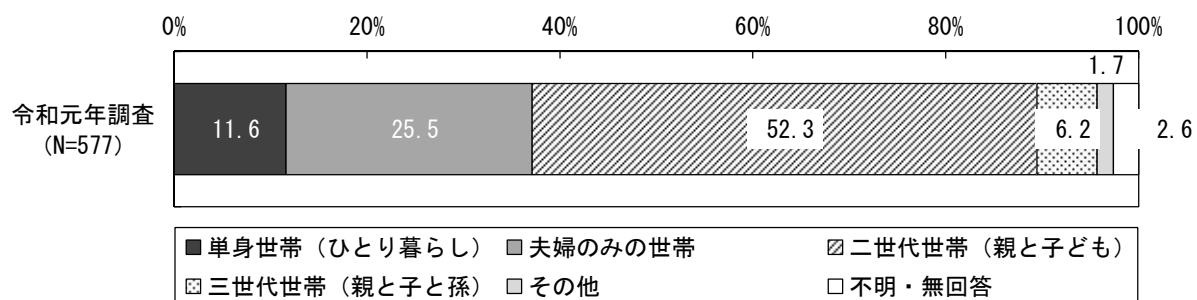
市民の世代別人口構成も反映して、高齢の世代の回答が多くなっています。10歳代については、18歳と19歳のみが本調査の対象となっています。



〔調査票／問 22〕

(3) あなたの家族構成を教えてください。

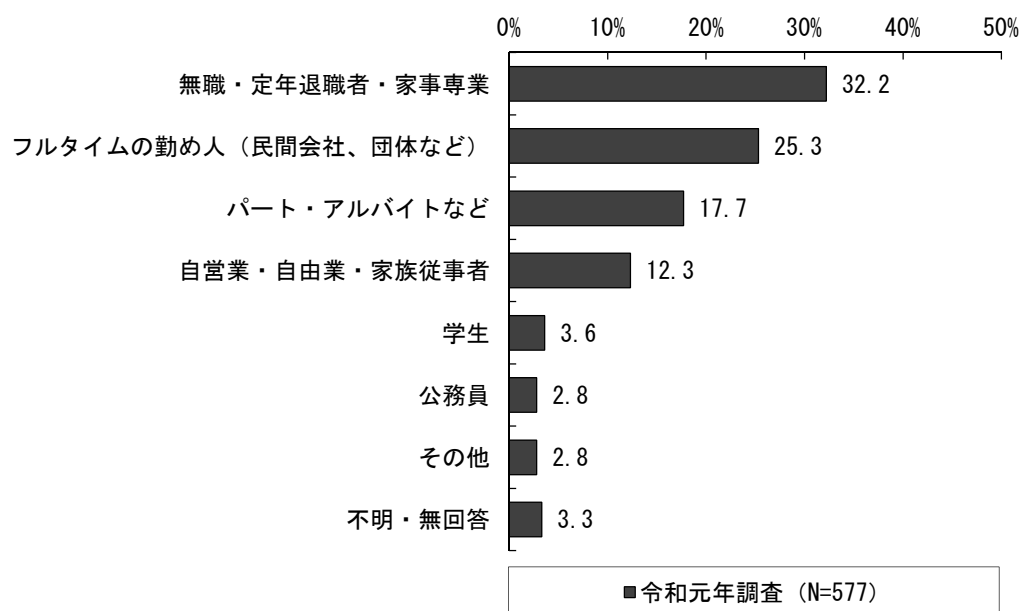
家族構成については、「二世世代世帯」が52.3%で最も多く、次いで「夫婦のみの世帯」が25.5%となっています。



〔調査票／問 23〕

(4) あなたのご職業を教えてください。

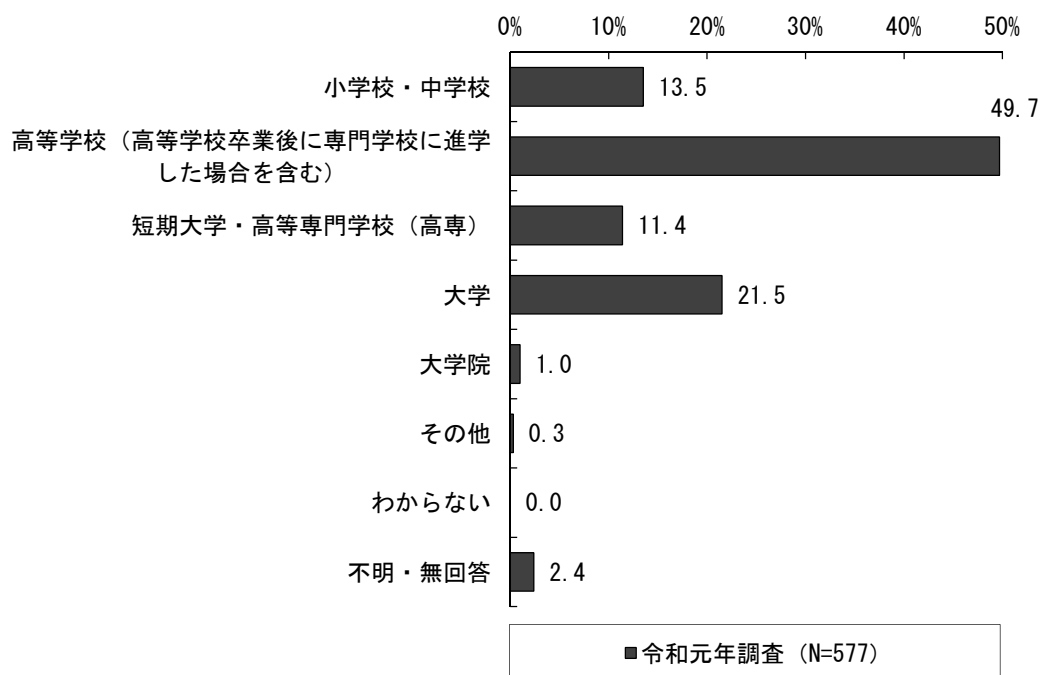
職業については、「無職・定年退職者・家事専業」が32.2%で最も多く、次いで「フルタイムの勤め人」が25.3%、「パート・アルバイトなど」が17.7%となっています。



〔調査票／問 24〕

(5) あなたが最後に卒業した学校は何ですか。

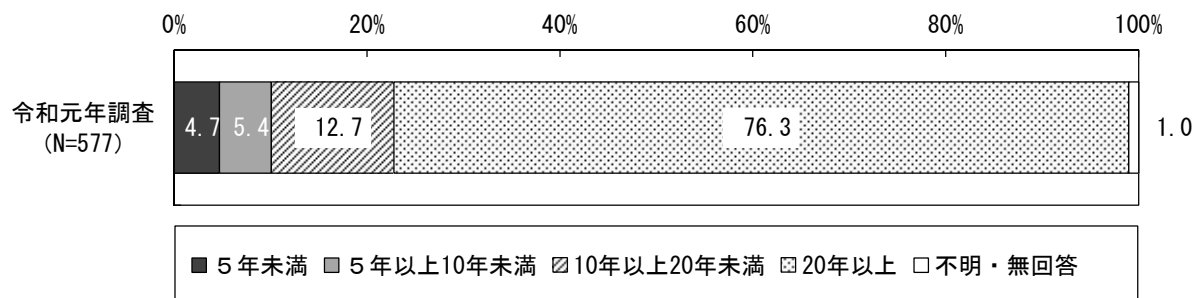
最終学歴については、「高等学校」が 49.7%で最も多く、次いで「大学」が 21.5%となっています。短期大学、高専、大学等の高等教育を卒業した割合は、33.9%となっています。



〔調査票／問 25〕

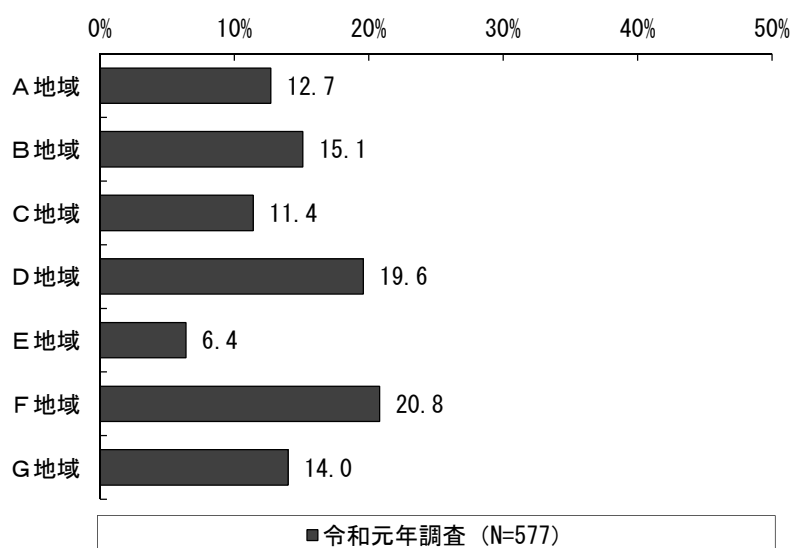
(6) あなたは東大阪市に住んで何年になりますか。市内での居住期間を合計した年数で回答してください。

市内の居住期間については、「20年以上」が 76.3%となっており、「10年以上 20年未満」と 10年未満の回答が、それぞれ約1割となっています。



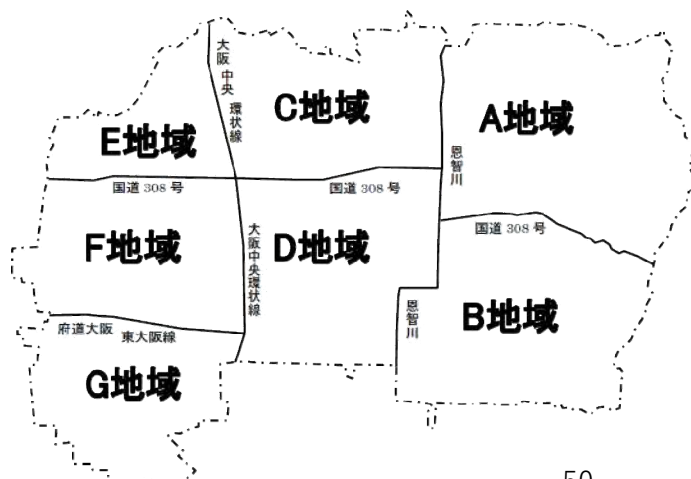
(7) 居住地域（調査票の事前ナンバリングにより把握）

回答者の居住地域については、「F 地域」が 20.8%で最も多く、次いで「D 地域」が 19.6%となっています。配付数と回収数から地域別の回収率を算出すると、「B 地域」で最も回収率が高く、「C 地域」で最も低くなっていますが、おおむね誤差の範囲にとどまっており、地域別の回収率に大きな差はありません。



■ 地域別回収状況

地域	配付数	回収数	地域別回収率
A地域	192	73	38.0%
B地域	209	87	41.6%
C地域	191	66	34.6%
D地域	282	113	40.1%
E地域	106	37	34.9%
F地域	303	120	39.6%
G地域	217	81	37.3%



## 7. 自由記述回答について

〔調査票／問 26〕

- (1)最後に、このアンケートについて、または東大阪市の生涯学習推進へのご提案、ご意見などがあれば、ご自由にお書きください。

全体で 112 件の自由記述回答がありました。主な回答を以下に示します。

### ①学習の場の整備について (26 件)

	内容	年齢	性別
1	夜間に学べる講座等を開いてほしい。	30 歳代	女性
2		50 歳代	女性
3		50 歳代	女性
4		70 歳以上	男性
5	子どもを連れて参加できるようにしてはどうか	70 歳以上	女性
6		40 歳代	女性
7	小中学校などの空き教室を生涯学習で活用してほしい。	70 歳以上	女性
8		40 歳代	女性
9	スポーツ施設の利用料金が他市と比べて高く、金銭的負担が大きい	60 歳代	男性
10		年齢無回答	女性
11	民間企業と連携してモノづくり体験などに取り組んでほしい。	60 歳代	男性
12		40 歳代	女性
13	ヨガやエアロ等、興味のある運動プログラムはあるが、仕事の為に行けないのが残念に思う。土日であれば参加しやすい。	30 歳代	女性
14	若い人には就職のための学習の機会を、年長者には人とつながって楽しく生活できるような学習の場を、丁寧につくり参加しやすいように配慮してほしい。	60 歳代	女性
15	若い世代や子育て世代に対しての推進活動を増やして欲しい。子育て世代には、生涯学習にあてる時間の確保（預かり保育など）を支援して頂きたい。	30 歳代	女性
16	学歴の高度化となり、学習の幅も広がって複雑となっている。すべてのニーズに対応することは難しいので、地域活動等に絞ってメニューを提供することがいいのではないか？リタイアした高学歴者の有効活用を積極的に進めるのがよい。	50 歳代	男性
17	東大阪市の多くの優良企業と市民を交流できる取組があれば、もっともっと増やしてほしい。企業見学会等企业にとっては市場調査や宣伝、開発のヒントになるもの、市民にとっては新しい発見やライフワークにつながるもの。	60 歳代	男性
他9件			

②希望する生涯学習活動について（16件）

	内容	年齢	性別
1	IT関係や介護の資格を取れるようなプログラムがあるとよい。	40歳代	女性
2		50歳代	女性
3		70歳以上	女性
4	定年後に趣味にできるような学習やサークルに参加したい。	50歳代	女性
5		70歳以上	女性
6	ワールドカップがきっかけでラグビーに興味があった。ラグビーに関するイベントや情報を増やしてもらえたら東大阪市民として嬉しい。	40歳代	男性
7	子どもが費用をかけないで、武道や勉強及び実生活に役立つ場が多くあればと思う。	60歳代	男性
8	知的障害者が働く事を、会社や企業の人に知ってもらう為に講習会があるといいと思います。会社や上司や周りの人に理解されていない事が多い。	30歳代	男性
9	英語講座など、語学も入れて欲しい。	60歳代	女性
10	無料で学習できる機会が沢山あれば、参加したい。	40歳代	女性
他6件			

③東大阪市の生涯学習振興について（16件）

	内容	年齢	性別
1	子どもの学力向上や学習支援に取り組むべき	30歳代	女性
2		50歳代	女性
3	誰でも参加出来るような生涯学習推進を、これからも広めていってほしいと思う。	60歳代	女性
4	ラグビーが盛んになったのだから、ラグビーをもっとアピールして活性化を図ってほしい。子どもから大人までラグビーを有名にしてほしい。	50歳代	男性
5	目玉はラグビー以外にもあった方が良くはないかと思う。	30歳代	男性
6	市の東部に安価で利用できる運動施設を充実させてほしい。	60歳代	女性
7	東大阪にもある大学において学び、単位が取れるような機会が今後あればと願っている。趣味も大事だが、もっと真剣に学びたい高齢者は大勢いる。	60歳代	女性
8	年代ごとに興味を持つ事柄は当然変化していくので、生涯学習についても年代別にわかり易く整理し、提案してもらえればと考える。東大阪市内に居住する住民が少しでも生涯学習を通じて「一体感」を持てる様をお願いする。	60歳代	男性
9	豊かな老後を楽しめる町を希望する。	60歳代	女性
他7件			



④情報提供について（14件）

	内容	年齢	性別
1	講演会や講座などの情報をわかりやすく発信してほしい。	50歳代	女性
2		50歳代	女性
3	性別・年齢別にどんな人がどんな学習や活動をしているのかについて知りたい。	60歳代	女性
4		70歳以上	男性
5	通勤中にスマホで閲覧できるサイトがあれば確認しやすくなる。	40歳代	男性
6	様々な取組を市民にわかりやすくアピールして頂きたい。	50歳代	男性
7	情報誌はあるが、インパクトと探求力、参加を考えている人とのマッチングに知恵を絞る必要があると思う。	60歳代	男性
8	この生涯学習の推進にどう取り組み、どう進めようとしているのかの情報開示をお願いしたい。	50歳代	男性
他6件			

⑤アンケート調査について（14件）

	内容	年齢	性別
1	アンケートを実施した結果がどのように活かされ、どのような取組をしているのか市民にはわかりづらい。	30歳代	女性
2		60歳代	男性
3	生涯学習についてよく知らなかった。	60歳代	女性
4		60歳代	女性
5	調査の結果を、後日インターネット上で公開してほしい。	60歳代	男性
6	もっと気軽に参加できるようにするにはどうすればよいか、アンケートを分析して取組に反映させてほしい。	60歳代	男性
7	このアンケートに協力する事で生涯学習に関心を持った。	60歳代	女性
他7件			

⑥地域での活動やつながりについて（6件）

	内容	年齢	性別
1	皆が笑顔で声を掛け合い助け合える・温かい東大阪市であってほしい、その為の生涯学習推進であって欲しい。	40歳代	女性
2	地域の交流が全くない為、楽であるけれど少しさみしい気がする。	60歳代	女性
3	今後、街づくりは行政のみに求めるものではなく、地域住民が主体となり取り組む必要がある。そのためには、地域ボランティアのコーディネーターやキャリアコンサルタントを育成していく事が重要と考える。住んで良かった、住み続けたいまちづくりに微力ながら参加していきたい。	50歳代	女性
4	社会がますます個人指向になりつつある時代において一人一人がもっと他人とのつながりが密になるよう考えたいと思うし、そういう機会・情報供与を希望する。	60歳代	男性
他2件			

⑦その他（20件）

	内容	年齢	性別
1	今でも何か学習したい気持ちはあるが、年と共に足が痛んで歩いて行けないので、気持ちはあってもついていけない。	70歳以上	女性
2	向上心や学習意欲は時間と金銭的なものにゆとりがないとなかなかついてこないような気がする。毎日の生活に追われてばかりで残念ながら今は関心が薄く、もう少し年齢がいくとできるかもしれない。	40歳代	女性
3	長い間勤めた会社を去年退職し、1年以上家に居たが、この生涯学習についてもっと知っていれば、参加したかもしれない。	60歳代	女性
4	日々の生活に追われ、生涯学習等に関心を持つことはありませんでした。	60歳代	男性
5	広く市民の声を集め、市政に反映して頂きたい。	60歳代	男性
6	結婚してこの市に来てから大変住みやすく感じる。これからももっと充実した人生を送っていきたい。東大阪市が今よりもっとよくなるようにと願っている。	40歳代	女性
他 14 件			

## 8. 団体調査について

市民を対象としたアンケート調査と並行して、市内で活動する生涯学習関連団体を対象として実施した、「生涯学習推進計画策定に関する団体調査」では、本市の生涯学習をめぐる課題等について、次のような意見が寄せられました。

### (1) 活動を継続していくための課題について

活動を継続していくための課題について、多くの団体がメンバーの高齢化や後継者不足を挙げています。各地域における住民の学習・交流を担ってきた団体の多くにおいて、活動の弱体化が懸念されています。

主な意見
◇メンバーの高齢化と後継者不足。(複数)
◇学級生の高齢化が進んでおり、新たな学級生の参加が少なく、参加されても続かない。
◇指導員の高齢化、人材難の地区が散見される。
◇保護者が役に当たることを嫌い、子どもを入会させない。
◇同じ人がいくつもの役職を兼ねていることが多く、人材の確保が課題。

### (2) 行政に支援を求めたいこと

行政に支援を求めたいこととしては、活動のための場所の確保についての意見が最も多く、他には情報提供や経済的な支援、人権学習等についての意見が回答されています。

主な意見
◇活動のための場所の確保。(複数)
◇多様化するニーズに対して、より身近で気軽に学べる場所の提供が必要(公共施設以外にお寺、神社、空き家などを活用する)。
◇団体の行う学習活動について行政からも広めてほしい。
◇市民や行政の要望を団体に伝えてほしい。
◇本市における人権教育にもつながるような生涯学習も推進してほしい。
◇経済的な支援を充実させてほしい。
◇リージョンセンター、公民分館、その他生涯学習の拠点となる施設及び行事への更なる人的財政的支援が必要と考える。

### (3) 生涯学習活動やまちづくりの活性化に向けて必要なこと

生涯学習の成果や団体の活動とまちづくりとの関連についての意見が複数寄せられています。また、地域の課題への取組の必要性や、市民の間にある格差の問題、若い世代の参画についても、それぞれ指摘されています。

主な意見
◇生涯学習の推進により、個々の学習の成果が地域社会に、まちづくりにどのように活かされていくのかが大切ではないか。
◇協働のまちづくりのためには、市民がどれだけ動くか、それを行政がどうサポートするかだと思われる。
◇団体として行っていることと、まちづくりの関連を見直し、広めていけることは連携したい。
◇幅広い世代を対象としてボランティア活動体験や地域の課題への理解が深まる取組を進めていきたい。
◇地域でどんなことを学びたいのか、話し合って定期的を開催してはどうか。
◇所得・学力などの格差が進んでいる中で、生涯学習のニーズの高まりとは逆に、そうでない人との意識の差が広がり、全体のレベルアップがはかりにくくなるのではないか。
◇若い世代が参画できる計画策定が必要。

### III 結果のまとめ

## 1. 調査結果の概要

### (1) 市民の生涯学習経験について

- 生涯学習という言葉について、「聞いたことがあり内容も理解している」という回答が減少しています。
- この1年くらいの学習経験については、「健康・スポーツ」や「趣味的なもの」が上位となっており、「したことがない」という人が減少しています。また、「職業上必要な知識・技能」に関する学習が増加しています。
- 学習方法については、「インターネット」、「自宅での学習活動」、「テレビ・ラジオ」といった個人で行う学習が上位となっており、講座・教室やグループ・サークルでの学習に取り組む人は比較的少なくなっています。
- インターネットを通じた学習を行う人が大幅に増加しています。
- 学習を始めた理由については、「仕事や就職・転職に必要なため」が増加しています。
- 学習活動を通じて身に付けた知識・技能の活かし方については、「仕事や就職の上で活かしている」、「日常生活に活かしている」、「資格を取得した」が増加し、「さらに広く、深い知識・技能を身に付けることに役立っている」、「地域活動やボランティア活動に活かしている」が減少しています。
- 学習の阻害要因としては、現役世代を中心に「費用がかかる」、「仕事が忙しい」、「家事や育児、介護が忙しい」といった回答が多くなっています。また、学習をしていない人では「きっかけがつかめない」も多くなっています。
- 参加したことがある地域の活動やボランティア活動については、「自治会などの地域活動」や「PTA活動」が多く、自発的な活動に取り組む人はそれほど多くない状況です。

### (2) 市民の生涯学習の意向について

- これから学習したいことについては、学習経験と同様に「健康・スポーツ」や「趣味的なもの」が上位となっている一方、「家庭生活に役立つ知識・技能」、「語学・国際理解・国際交流に関すること」が増加しています。
- 市民向け講座の企画やプログラムづくりなど、市民の学習を支援する活動について、約2割が「参加したい」と回答しています。
- 学習に関する情報の入手先として、「市政だより」が最も多い一方、それ以外の東大阪市の情報発信（生涯学習情報誌、ケーブルテレビ、ウェブサイト等）については、いずれも1割に満たない回答となっています。
- 生涯学習に関して希望する情報については、「教室・講座の情報」、「イベントの情報」、「施設の情報」が上位となっています。前回調査と比べて「施設の情報」がやや増加し、「地域活動・ボランティアの情報」が減少しており、個人的な学習への志向がやや強まっていることが考えられます。

### (3) 生涯学習関連施設について

- 生涯学習関連施設のこの1年くらいの間の利用経験については、「図書館・図書館分室・移動図書館」が27.7%で最も多く、最もよく利用されている生涯学習施設となっています。
- 生涯学習関連施設を「全く利用していない」という回答が約半数を占めており、前回調査から大きな変化は見られません。
- 団体調査では、行政に求める支援として活動場所の確保についての意見が多くなっています。

### (4) 大学などにおける社会人の学習について

- 社会人になってからの大学等での学習経験については、13.4%が学んだことがあると回答しており、24.6%が「学習したことはないが、今後は学習してみたい」と回答しています。
- 大学等での学習については、学習したいと思わないという回答より、学習経験があるか学習を希望する回答の方が多くなっています。
- 社会人として大学で学ぶことに期待することについては、「資格を取得すること」、「幅広い教養を得ること」、「特定分野の基礎的な知識を得ること」が上位となっています。
- 社会人が大学などで学習しやすくするための取組については、「学費の負担などに対する経済的な支援」、「土日祝日や夜間など、開講時間の配慮」、「就職や資格取得などに役立つ社会人向けプログラムの拡充」が上位となっています。

### (5) 生涯学習の振興について

- 生涯学習を通じて身に付けた知識や技能の社会的な活用については、「仕事で活用する」が、「学習、趣味のサークルで活用する」、「特にない、わからない」が上位となっており、前回調査と比べて「仕事で活用する」が増加しています。
- これから学習や体験活動に参加していくために東大阪市に望むことについては、「仕事に役立つ資格などが取れるような講座を増やす」、「学習を進めるため、講師・講座・学習施設の所在地などの情報を充実させる」、「スポーツや運動ができる場を整備する」が上位となっています。前回調査と比較すると、「グループや仲間が気軽につどい、学習ができる施設を充実する」が減少しています。
- 多くの人が地域や社会での活動に参加するようになるために必要なことについては、「地域や社会での活動に関する情報提供」、「地域や社会に関する講習会の開催など、活動への参加につながるようなきっかけづくり」、「交通費などの必要経費の支援」が上位となっています。「活動の成果が社会的に評価されること」という回答は少なくなっています。
- 団体調査においては、多くの団体が担い手の高齢化や不足の問題を抱えていることが示される一方、生涯学習をまちづくりにつなげていくことや、地域の課題に取り組むことの必要性について指摘されています。

## 2. 調査結果からみた本市の課題について

### (1) 学習活動から交流やまちづくりへの発展について

生涯学習活動の経験のある人についてみると、個人で行う学習が多くなっており、講座やグループ活動といった他者との触れ合いを含む学習が少なくなっています。また、地域活動やボランティア活動については、自発的に取り組む市民は少数であり、学習の活かし方としても回答が減少しています。全体として、本市の市民の生涯学習活動については、個人的な学習への志向がやや強まっていることが考えられる一方、学習を通じた人間関係の形成や、地域活動、まちづくり活動への発展に課題があることがうかがえます。

団体調査においても多くの生涯学習関連団体がメンバーの高齢化や後継者不足の問題を抱えていることが示されており、地域における学習・交流を通じたつながりづくりが今後の課題であることがうかがえます。

### (2) 市民参加の推進について

地域や社会での活動に参加するようになるために必要なこととしては、「活動に関する情報提供」や「講習会の開催などのきっかけづくり」が上位となっており、「社会的に評価されること」を望む回答は少なくなっています。住民相互の交流や活動のきっかけとなる生涯学習の機会を提供することで、地域に新たなつながりが生まれ、新しい活動やまちづくりに積極的に参加していく市民の育成につながると考えられます。

また、市民の学習を支援する活動についても、約2割が「参加したい」と回答しており、こうした意欲のある市民との協働による、学習の推進が今後の課題となります。団体調査においても、まちづくりや地域課題に取り組むことに積極的な意見が複数挙げられており、幅広い市民・関係団体と連携した取組の充実が求められます。

### (3) 情報発信について

学習に関する情報の入手先として、「市政だより」以外の市の生涯学習に関する情報発信手段を活用している市民は少数にとどまっています。「生涯学習」という言葉の認知について前回調査より後退しており、生涯学習関連施設についても利用しない市民の割合には変化がないことが示されており、生涯学習に関する情報発信の強化が課題となっています。

学習手段としても情報の入手手段としても、インターネットを活用する市民が若い世代を中心に増加している一方、誰もがそれを使いこなせるとは言えない状況となっており、市民の実情に応じた適切な情報発信を強化していくことが求められます。



#### (4) 市民のニーズにこたえる学習機会の提供について

前回調査との比較では、学習経験や学習の活かし方や東大阪市に望むこと等において、就労や就職・転職に必要な学習を望む回答が全般的に増加しています。昨今の雇用状況の変化を反映したものと考えられますが、こうした就労につながる学習機会の提供は、自治体の生涯学習推進においては十分に取組みられてこなかった領域であり、今後の取組を検討する必要があります。

#### (5) 大学との連携について

大学等での学習については、学習したいと思わないという回答より、学習経験があるか学習を希望する回答の方が多くなっており、本市が有する重要な学習資源として、大学等との効果的な連携の推進は今後も課題となります。学習しやすくするための取組みについては、「学費の負担などに対する経済的な支援」、「土日祝日や夜間など、開講時間の配慮」、「就職や資格取得などに役立つ社会人向けプログラムの拡充」等が多く回答されており、これらを踏まえた協働の推進体制を強化していくことが求められます。



## IV 調査票

# アンケート調査 調査票

## 1. あなたの自身の生涯学習の経験についておたずねします。

問1 あなたは「生涯学習」という言葉を聞いたことがありますか。(1つに○)

- 1. 聞いたことがある内容も理解している
- 2. 聞いたことはあるが内容はよくわからない
- 3. 聞いたことがない
- 4. わからない

問2 あなたはこの1年くらいの間に、どのような内容の学習活動や体験活動をしたことがありますか。(あてはまるものすべてに○)

- 1. 趣味なもの(音楽・美術・舞踊・舞踏・華道・書道など)
- 2. 教育的なもの(文学・歴史・科学など)
- 3. 健康・スポーツ(雑舞法・医学・栄養・ジョギング・水泳など)
- 4. 家庭生活に役立つ知識・技能(身近な家庭問題・料理・裁縫など)
- 5. 育児・教育(育児サークル・幼児教育・教育問題など)
- 6. 職業上必要な知識・技能(仕事に関係のある知識の習得や資格の取得など)
- 7. 語学(英会話など)・国際理解・国際交流に関すること
- 8. ハンコン・インターネットに関すること
- 9. 地域活動・ボランティア活動やそのために必要な知識・技能(ボランティア学習など)
- 10. 自然体験や生活体験などの体験活動
- 11. 就労体験
- 12. 人権・男女共同参画に関すること
- 13. 福祉に関すること
- 14. まちづくり・地域づくりに関すること
- 15. 社会問題(社会・時事・国際・環境問題など)
- 16. 東大阪市の歴史・文化に関すること
- 17. ラグビーやモノづくりなどの東大阪らしい学習や体験
- 18. 基礎的な学力を習得すること(よみかき・日本語、小中学校段階の学習など)
- 19. 学校(高等学校・大学・大学院・専門学校など)の学習
- 20. その他( )
- 21. この1年くらいの間にはしなかったことがない
- 22. わからない

## 東大阪市の生涯学習に関するアンケート調査 — アンケート調査ご協力をお願い —

市民の皆さまには日頃より市政にご理解とご協力をいただき誠にありがとうございます。

東大阪では平成23年に第三次東大阪市生涯学習推進計画を策定し、施設の整備や学習講座の開催などの生涯学習事業を推進してまいりました。現在の計画が令和2年度を最終年度としているため、令和2年度中に第四次東大阪市生涯学習推進計画の策定を予定しております。

このアンケート調査は、新しい計画の策定にあたり、本市にお住まいの満18歳以上の方を対象に、市民の皆さまの生涯学習についてのご意見やニーズなどをおたずねし、今後の生涯学習事業を推進していくための基礎資料とするために実施することといたしました。なお、ご回答いただきました調査結果については、東大阪市個人情報保護条例に基づき統計的に処理し、他の目的で使用することは一切ございませんので、調査の趣旨をご理解いただき、ご協力くださいますようお願いいたします。

令和元年 11月 東大阪市長 野田 蘇和

### ■ アンケート用紙記入上のおお願い

1. 回答は、あなた(調査の対象者)ご自身のお考えや、ご意見を記入してください。
2. 回答は、選択肢の番号に○をつける形式になっています。1つだけ○をつける質問と、あてはまるものすべてに○をつけるものがあります。
3. 「その他」を選択された方は、可能な範囲で「その他」の欄の○に内容を記入してください。

4. 最後まですべての質問に回答をお願いします。

※ アンケートに000001～000007の番号が印字されていますが、これは回答者のお住まいの地域を判別するためのもので、回答者個人を特定するものではありません。

回答が終わったら、同封の返信用封筒に入れ、**切手を貼らずに**

令和元年**11月26日(火)**までにご返送くださいますようお願いいたします。

### 【この調査についてのお問合せ先】

- 株式会社ジャパンインターナショナル総合研究所(調査委託会社)  
電話：075-316-3508      ファクス：075-874-1776
- 東大阪市 教育委員会事務局 社会教育部 社会教育課  
電話：06-4309-3279(直通)      ファクス：06-4309-3835

問3 あなたはこの1年くらいの間に、どのような方法で学習したことがありま  
すか。(あてはまるものすべてに○)

1. 社会教育センターなどの公的な機関における講座・教室
2. カルチャークラスやスポーツクラブなど民間の講座・教室、通信教育
3. 学校(高等学校・大学・大学院・専門学校など)の授業や講座・教室
4. 職場の教育、研修
5. 自主的な学習グループ・サークル活動
6. 図書館・博物館・美術館
7. テレビ・ラジオ
8. インターネット(ウェブサイト・動画サイトなど)
9. 自宅での学習活動(読書など)
10. この1年くらいの間には特に学習をしたことがない
11. その他( )
12. わからない

問4 あなたが何か学習を始めるとき、その理由は何か。  
(あてはまるものすべてに○)

1. 趣味を豊かにするため
2. 教養・能力を高めるため
3. 仕事や就職・転職に必要のため
4. 地域活動やボランティア活動に参加するため
5. 高度な専門知識を身に付けるため
6. 自由時間を有効に活用するため
7. 他者との交流、友人を得るため
8. 人生を有意義にするため
9. 社会の進歩に遅れないようにするため
10. 健康や体力づくりのため
11. 家庭生活に役立たせるため
12. その他( )
13. 持たない、わからない

問5 あなたは、学習活動を通じて身に付けた知識・技能をどのように活かしてい  
ますか。(あてはまるものすべてに○)

1. 仕事や就職の上で活かしている
2. 学業、学校生活の上で活かしている
3. 資格を取得した
4. 日常生活に活かしている
5. 地域活動やボランティア活動に活かしている
6. さらに広く、深い知識・技能を身に付けることに役立っている
7. 自由時間を有効に活用できている
8. 自分の人生がより豊かになっている
9. 自分の健康の維持・増進に役立っている
10. 学習・スポーツ・文化活動における他の習への指帰に役立っている
11. 学習していない、活かしていない
12. その他( )
13. わからない

問6 あなたが学習をする時に困ることや、学習活動をしていない理由は何で  
すか。(あてはまるものすべてに○)

1. 仕事が忙しい
2. 家事や育児、介護が忙しい
3. 費用がかかる
4. きっかけがつかめない
5. 学習する施設や場所がない
6. 希望する教室や講座がない
7. 教室や講座の時間が合わない
8. 学習や活動の情報が少ない
9. どこに相談してよいかわからない
10. 仲間がいない
11. 学習する必要を感じない
12. 自由時間が少ない
13. その他( )
14. 持たない、わからない

問7 あなたはこれまでに、地域の活動やボランティア活動に参加したことがありますか。また、今後、どのような活動に参加したいと思えますか。①参加したことがある活動と、②今後参加したい活動のそれぞれについて、下記の中から選んで、番号を記入してください。(あてはまるものすべて記入)

①参加したことがある活動
②今後参加したい活動

1. 公共施設での活動(博物館の展示説明員など)
2. 学習・趣味のサークル活動
3. PVA活動
4. 青少年健全育成に関する活動(青少年指導員・少年指導員・スポーツ推進委員・子ども会など)
5. 自治会などの地域活動
6. スポーツ指導のボランティア活動(スポーツ・レクリエーション・クラブ活動指導など)
7. 学習・文化のボランティア活動
8. 消費者活動(消費問題に関する啓発活動や相談支援など)
9. 人々の学習活動に関する指導・助言・演習・協力の活動(料理・英語・書道など)
10. 自然・環境保護に関する活動(環境美化・リサイクル活動など)
11. 国際交流(協力)に関する活動(通訳・難民援助・技術援助・留学生援助など)
12. 地域の福祉に関する活動(民生委員・高齢者や障害者などに対する介助など)
13. 子育てに関する活動(保育・子育てサークル活動など)
14. 保健・医療・福祉に関する活動(病院ボランティアなど)
15. 交通安全に関する活動(盛カードなどの子どもや下校時の安全監視など)
16. 自主防災活動や災害援助活動
17. 募金活動、チャリティイベント
18. NPO活動
19. 観光振興に関する活動
20. 産業振興に関する活動
21. その他( )
22. 特になし、わからない

## 2. 生涯学習についての今後の意向についておたずねします。

問8 あなたがこれから学習するとすれば、どのようなことを学習したいですか。(あてはまるものすべてに○)

1. 趣味的なもの(音楽・美術・舞踊・華道・書道など)
2. 教育的なもの(文学・歴史・科学など)
3. 健康・スポーツ(健康法・医学・栄養・ジョギング・水泳など)
4. 家庭生活に役立つ知識・技能(身近な家庭問題・料理・裁縫など)
5. 育児・教育(育児サークル・幼児教育・教育問題など)
6. 職業上必要な知識・技能(仕事に関係のある知識の習得や資格の取得など)
7. 語学(英会話など)・国際理解・国際交流に関すること
8. パソコン・インターネットに関すること
9. 地域活動・ボランティア活動やそのために必要な知識・技能(ボランティア学習など)
10. 自然体験や生活体験などの体験活動
11. 就労体験
12. 入籍・男女共同参画に関すること
13. 福祉に関すること
14. まちづくり・地域づくりに関すること
15. 社会問題(社会・時事・国際・環境問題など)
16. 栗入阪市の歴史・文化などに関すること
17. ラグビーやモノづくりなどの栗入阪市らしい学習や体験
18. 基礎的な学力を習得すること(よみかき・日本語、小中学校段階の学習など)
19. 学校(高等学校・大学・大学院・専門学校など)の学習
20. その他( )
21. 特になし、わからない

問9 あなたは生涯学習に関する市民向け講座の企画やプログラムづくりなど、市民の学習を支援する活動に参加してみたいと思えますか。(1つに○)

1. 参加したい(企画したい講座やプログラムがある)
2. 参加したい(今のところ企画したい講座やプログラムはない)
3. どちらともいえない
4. 参加したいとは思わない

問10 あなたは、学習に関する情報をどのように得ていますか。  
(あてはまるものすべてに○)

1. 市政だより
2. 生涯学習情報誌「まなびにトライ!」
3. ケーブルテレビ広報番組「虹色ねっとわーく」
4. 東大版市のウェブサイト
5. 東大版市Facebook (フェイスブック)
6. 東大版市Twitter (ツイッター)
7. 上記以外のインターネット(ウェブサイト・動画サイトなど)
8. 新聞・情報紙、雑誌、専門書
9. ポスター・チラシ
10. テレビ・ラジオ
11. 家族・友人・知人
12. 自治会の回覧板
13. その他 ( )
14. 特にない、わからない

問11 あなたはどのような生涯学習に関する情報を望みますか。  
(あてはまるものすべてに○)

1. 教室・講座の情報
2. イベントの情報 (講演会・発表会・展覧会・スポーツ・レクリエーション大会など)
3. 施設の情報
4. 学習教材・プログラムの情報
5. 講師や指導者の情報
6. 地域活動・ボランティアの情報
7. 大学など教育機関の情報
8. 学習グループ・団体などの情報
9. 情報を発信している主体の情報
10. 資格取得の情報
11. 民間の学習情報
12. その他 ( )
13. 特にない、わからない

### 3. 生涯学習関連施設についておたずねします。

問12 この1年くらいの間に、以下に示したような市内の「生涯学習関連施設」を利用したことがありますか。(あてはまるものすべてに○)

1. 社会教育センター
2. 文化創造館
3. 市民多目的センター
4. 郷土博物館
5. 清池新田会所
6. 理窟文化財センター (発掘ふれあい館)
7. 旧河津家
8. 青少年センター
9. 男女共同参画センター【イコラム】
10. 入権文化センター
11. 市民広場・野球場
12. テニスコート
13. ワイルチエアースポーツ広場
14. 消費生活センター
15. 公園
16. 図書館・図書館分室・移動図書館
17. 市民分館・分室
18. 市民美術館
19. 勤労市民センター【ユトリート東大版】
20. 総合体育館【東大版アリーナ】
21. 市民ふれあいホール
22. 市民ふれあいホール
23. スポーツホールかがやき
24. 児童文化スポーツセンター【ドリーム21】
25. スカイランド
26. 野外活動センター (自由の森なるかむ)
27. 保健所・保健センター
28. 大学・短大の施設 (公開講座・公開講座など)
29. 高等学校の施設 (施設開放・講演会など)
30. 小・中学校の施設 (施設開放・講演会など)
31. 幼稚園・保育所 (施設開放・講演会など)
32. 子育て支援センター
33. 市民プラザ (リージョンセンター内)
34. 老人センター
35. 障害者センター
36. 障害児者支援センター【レビラ】
37. 消防高防炎学習センター
38. クリエイターズプラザ
39. 産業技術支援センター
40. その他 ( )
41. 特にない、わからない

問13 あなたはあなた、生涯学習関連施設」をどのくらい利用していますか (1つに○)

1. 週に1回以上
2. 月に1~3回程度
3. 年に3~10回程度
4. 年に1~2回程度
5. まったく利用していない

**4. 大学などにおける社会人の学習についておたずねします。**

問14 あなたは、学校を出て一度社会人となった後に、大学、大学院、短大、専門学校などの学校において学習したことがありますか。(1つに○)

1. 正規課程で学習したことがある(現在学習している)
2. 正規課程で学習したことはないが、公開講座や履修証明プログラムなど、短期講座で学んだことがある(現在学習している)
3. 学習したことはないが、今後は学習してみたい
4. 学習したことはないが、今後も学習したいとは思わない
5. まだ在学中であり、社会人となった経験がない
6. その他( )
7. わからない

問15 これから社会人として大学などで学ぶとすれば、どのような成果を期待しますか。(あてはまるものすべてに○)

1. 特定分野の基礎的な知識を得ること
2. 特定分野の先端知識を得ること
3. 幅広い教養を得ること
4. 就職などのために必要な知識を得ること
5. 新しい人的ネットワークや、友人を得ること
6. 資格を取得すること
7. 学位を取得すること
8. その他( )
9. 特になし、大学などで学びたいとは思わない
10. わからない

問16 社会人が大学などで学習しやすくするために、どのような取組が必要だと思いますか。(あてはまるものすべてに○)

1. 学習に関する情報を得る機会の拡充
2. 就職や資格取得などに役立つ社会人向けプログラムの拡充
3. 仕事以外の生活や教養に関するプログラムの拡充
4. 土日祝日や夜間など、開講時間の拡張
5. 放送(テレビ・ラジオ)やインターネットなどで受講できるプログラムの拡充
6. 学費の負担などに対する経済的な支援
7. 学習を支援する人材(キャリアコンサルタントなど)の育成や配属
8. 修了証や資格など、学んだ成果が分かりやすい仕組みづくり
9. 学習のために論議を繰れやすいような仕組みづくりや、企業などの取組の促進
10. 学んだ成果を職場などが評価するよう仕組みづくりの推進
11. その他( )
12. 特になし、わからない

**5. 生涯学習の真実についておたずねします。**

問17 生涯学習を通じて身に付けた知識や技能などを社会的に活用するのであれば、どのように活用すればよいと思いますか。(1つに○)

1. 学習、趣味のサークルで活用する
2. 地域活動・ボランティア活動で活用する
3. 仕事で活用する
4. 他人への学習指導で活用する
5. その他( )
6. 特になし、わからない

問18 これから学習や体験活動に参加していくには、東大阪市にどのようなことを望みますか。(あてはまるものすべてに○)

1. 仕事に役立つ資格などが取れるような講座を増やす
2. 学習を進めるため、講師・講座・学習施設の所在地などの情報を充実させる
3. 学んだことや持っているノウハウ(知識)を教えたり、伝えたりする機会を増やす
4. 指導者を養成するような学習の場を整備する
5. 東大阪市をアピールするような学習の場を整備する
6. まちづくりを進めるような学習の場を整備する
7. 大学の講座に気軽に参加できたり、大学の単位が取れたりするような制度を設ける
8. グループや仲間が気軽に集い、学習ができる施設を充実させる
9. スポーツや運動ができる場を整備する
10. 学校の体育館、校庭をもっと開放する
11. 講演会やスポーツ大会など行事を増やす
12. 民間教育事業者を活用した取組を増やす
13. 学習したい人が相談しやすい環境を整備する
14. 学習したことを謙遜したり活用できたりするようにする
15. 近隣の大人たちや其の他の関心のある人による学習のグループづくりを進める
16. ラグビーやモノづくりなど、東大阪市ならではの学習や体験の機会を充実させる
17. その他( )
18. 特になし、わからない

問19 多くの人が地域や社会での活動(ボランティアを含む)に参加するようになるためには、どのようなことが必要だと思いますか。(あてはまるものすべてに○)

1. 地域や社会での活動に関する情報提供
2. 地域や社会に関する講習会の開催など、活動への参加につながるようなきっかけづくり
3. コーディネーターなど、地域や社会での活動を支える人的体制や活動の拠点となる場が整っていること
4. 活動の成果が社会的に評価されること
5. 交通費などの必要経費の支援
6. その他( )
7. 特になし、わからない



6. 回答を統計的に分析するため、あなたご自身についておたずねします。

問20 あなたの性別を教えてください。(1つに○)

1. 男性                      2. 女性                      3. その他

問21 あなたの年齢を教えてください。(1つに○)

1. 10歳代                      2. 20歳代                      3. 30歳代                      4. 40歳代  
5. 50歳代                      6. 60歳代                      7. 70歳以上

問22 あなたの家族構成を教えてください。(1つに○)

1. 単身世帯(ひとり暮らし)                      2. 夫婦のみの世帯  
3. 二世帯世帯(親と子ども)                      4. 三世帯世帯(親と子と孫)  
5. その他( )

問23 あなたのご職業を教えてください。(1つに○)

1. フルタイムの勤め人(民間会社、団体など)  
2. 自営業・自営業・家族従事者  
3. 公務員  
4. ハート・アルバイトなど  
5. 学生  
6. 無職・定年退職者・家事専業  
7. その他( )

問24 あなたが最後に卒業した学校は何ですか。(1つに○)

1. 小学校・中学校  
2. 高等学校(高等学校卒業後に専門学校に進学した場合を含む)  
3. 短冊大学・高等専門学校(高等)  
4. 大学  
5. 大学院  
6. その他( )  
7. わからない

問25 あなたは東大阪市に住んで何年になりますか。市内での居住期間を合計した年数で回答してください。(1つに○)

1. 5年未満                      2. 5年以上10年未満  
3. 10年以上20年未満                      4. 20年以上

問26 最後に、このアンケートについて、または東大阪市の生涯学習推進へのご提案、ご意見などがあれば、ご自由にお書きください。

アンケートへのご協力、誠にありがとうございました。

記入済みのアンケート用紙を、向封の返信用封筒に入れ、切手を貼らずに、

令和元年11月26日(火)までにポストに入れてください。



# 団体調査 調査票

◎団体名・役職名および記入者名についてご記入ください。

団体名・役職名
記入者名

※貴団体と直接関係しない等、回答が難しい項目はご記入いただかなくても構いません。  
※すべてのご意見の集約を行いますので、できる限り簡潔にご回答ください。

問1 貴団体の生涯学習に関する活動について、①主な活動内容 ②活動を進めていく上での課題 ③活動の将来展望やこれからの取り組みたいこと ④行政に支援を求めたいことについて、可能な範囲でお答えください。

■記入欄
①主な活動内容
②活動を進めていく上での課題

## 生涯学習推進計画策定に関する団体調査

### － はじめに －

皆様には、日頃より市政にご理解とご協力を賜り、誠にありがとうございます。このたびは東大阪市では、令和2年度に最終年を迎える「第三次東大阪市生涯学習推進計画」の見直しに向けた取組を進めています。

本調査は、令和3年度からの10年間を計画期間とする新しい計画の策定にあたり、本市の生涯学習推進に係る団体活動における現状や課題等を把握することを目的に、実施するものです。

お忙しいところ誠に恐れ入りますが、ご協力をお願いいたします。

令和元年11月 東大阪市

### － ご記入にあたって －

- 回答は、普段から貴団体の活動に携わっている方であれば、どなたが記入していただいても構いません。
- それぞれの項目についてお考えを自由に記入ください。
- 質問に対するご意見がない場合は、その欄は空白のままにしてください。か、「なし」とお書きください。
- 本調査において寄せられたご意見については、調査対象団体の一覧と、分野別の意見を集約した結果を計画本文または調査報告書に記載し、公表することを検討しております（この団体の意見なのか特定される形式ではありません）。
- ご回答いただいた調査票は、**11月20日（水）まで**に、同封の返信用封筒に入れて、切手を貼らずにポストに入れてください。

【この調査についてのお問合せ先】

■株式会社ジャパンインターナショナル総合研究所（調査委託会社）  
電話：075-316-3508 FAX：075-874-1776  
■東大阪市 教育委員会事務局 社会教育部 社会教育課  
電話：06-4309-3279（直通） FAX：06-4309-3835

③活動の将来展望やこれからの取り組みたいこと

④行政に支援を求めたいこと

問2 より多くの市民が生徒学習活動に参加し、東大版市の生徒学習がより活発になっていくためには、どのような取組があると良いと思いますか。

問3 生徒学習の推進やまちづくりに関して、貴団体（あなた）が今後力を入れたい活動や、行政と連携して取り組みたいことがあればご記入ください。

■記入欄

問4 その他、新しい生徒学習推進計画の策定にあたり、ご意見があればご記入ください。

■記入欄

以上で質問は終了です。ご協力ありがとうございました。

東大阪市の生涯学習に関するアンケート調査

【結果報告書】

令和2年3月

東大阪市教育委員会事務局 社会教育部 社会教育課

〒577-8521 東大阪市荒本北一丁目1番1号

TEL : 06-4309-3279 FAX : 06-4309-3835